

2015-業績一覧-歯科基礎系講座

著者	日本歯科大学
雑誌名	日本歯科大学生命歯学部研究年報
巻	2015
ページ	6-51
発行年	2016
URL	http://id.nii.ac.jp/1102/00000778/

● 解剖学第1講座 Department of Anatomy

1. 所属構成員等

教 授 佐藤 巖
准 教 授 春原 正隆
講 師 上野 隆治（併任），三輪 容子
臨 床 研 究 生 黒澤 一弘，古賀慎太郎
客 員 教 授 等 島田 和幸
非 常 勤 講 師 坂井 建雄，伊藤 正裕，隅田 由香，大垣 敦則，谷津 利夫
平形 寿善，藤橋 敏行，関井 啓文，佐藤 忠敬，河野 勉
森山 浩志，小関 博之，新井 啓之，野口 顕造，山崎 昌彦
渡邊 一博，山下 恭嗣
大 学 院 生 我妻 由梨

2. 研究テーマ

- 1) 口腔領域の器官形成と細胞外マトリックスの役割 A study of the role of intercellular matrix at the organ formation in the orofacial region.
- 2) 食性の変化における咀嚼筋への影響について Anatomical study of the masticatory muscle under the influence of the dietary changes.
- 3) 顎顔面領域の自律神経系についてのマクロ解析 Anatomical analysis of the distribution of autonomic nerves in the maxillofacial region.
- 4) 血小板造血機構の分子生物学的解析 Molecular biological analysis of platelet hematogenesis.
- 5) 顎顔面領域の比較解剖学 Comparative anatomy in the maxillofacial region.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

- 1) 財前知典，歯科用コーンビーム CT によるニホンザルの上顎骨における眼窩下管の複管に関する解剖学的研究，A morphological study of the multi infraorbital canals of the maxilla in the Japanese macaque by cone-beam computed tomography，2015 年 3 月 11 日，日本歯科大学。

5. 主催学会等

- 1) 一般社団法人 歯科基礎医学会 第 1 回定期特別講演会「新たなオーラルバイオサイエンスの黎明」一次世代の研究者ならびに教育者の育成をめざして一，東京，日本歯科大学生命歯学部，平成 27 年 4 月 25 日，大会長：佐藤 巖。
- 2) 第 25 回日本解剖学会関東支部懇話会「消化の話—口腔・咽頭・上部消化器系における基礎と臨床の接点」，東京，日本歯科大学生命歯学部，平成 27 年 6 月 13 日，大会長：佐藤 巖。
- 3) 平成 27 年度日本歯科大学校友会ポストグラデュエートコース「だれにでもわかる口腔のしくみと臨床—口腔リハビリテーションへの基礎入門—」，東京，日本歯科大学生命歯学

部，平成 27 年 7 月 25 日・26 日，解剖学第 1 講座・日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック共催，主催者：佐藤 巖（解剖学第 1 講座），菊谷 武（日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック）。

6. 国際交流状況

- 1) 共同研究：春原正隆，Professor W. Kriz（ドイツ，Center for Biomedicine and Medical Technology (CBMT), Medical Faculty Mannheim, University of Heidelberg），Dr. K. Endlich（ドイツ，Dept. of Anatomy and Cell Biology, Ernst Moritz Arndt University），Dr. N. Endlich（ドイツ，Dept. of Anatomy and Cell Biology, Ernst Moritz Arndt University），「Podocyte 細胞骨格変化に関する細胞内情報伝達系の解析」，2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日。
- 2) 共同研究：上野隆治，Professor G. C. Townsend（オーストラリア，School of Dentistry, The University of Adelaide），Professor M. Henneberg（オーストラリア，Department of Anatomical Sciences, The University of Adelaide），Dr. C. Kemper（オーストラリア，Division of Natural Science, South Australian Museum），「オーストラリア産有袋類の歯牙形態についての比較解剖学的研究」，2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日。

7. 外部・学内研究費

- 1) 日本学術振興会科学研究費補助金，基盤研究（C）（一般），継続，平成 26～30 年度，歯髓血管新生過程における TPO/MPL シグナル制御機構の時空的解析，春原正隆（代表），455 万円。
- 2) 平成 27 年度研究プロジェクト，高齢者の顎顔面構造機能解析のスタンダードデータの確立，佐藤 巖（代表），380 万円。

8. 研究業績

A. 著 書

記載事項なし

B. 原 著

1. *Takada H, Miwa Y, Sato I. Expression of myostatin in early postnatal mouse masseter and rectus femoris muscles, ◎☆Histol Histopathol, 2015 ; 30 (11) : 1353-1365, doi : 10.14670/HH-11-630. (学位論文)
2. *Murata H, Sunohara M, Sato I. Expression of DMP1 in the developing mouse tongue embryo, ◎☆Ann Anat, 2015 ; 200 : 136-148, doi : 10.1016/j.aanat.2015.03.003. (学位論文)

C. 総説・解説

1. 佐藤 巖：「だれにでもわかる口腔のしくみと臨床 口腔リハビリテーションへの基礎入門 嚥下・咽頭・喉頭に関する解剖学的指標」，日本歯科大学校友会・歯学会会報，41（2）：30-33，日本歯科大学，東京，2015。
2. 佐藤 巖：顎顔面領域の血管・神経分布と痛みの局在性，歯学，103（秋季特集号）：28-32，日本歯科大学，東京，2015。

D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

1. 佐藤 巖ら編集委員：解剖学への招待，私と献体・会員の手記第 35 集 解剖学実習を終えて 第 37 集 平成 27 年度，篤志解剖全国連合会・（公財）日本篤志献体協会，東京，2015.
2. 佐藤 巖：みんな知ってる？歯ってどうなってる！？ 堅くて丈夫、だけど酸が苦手です。エナメル質，nico, January (109) : 26-27, クインテッセンス出版，2016.
3. 佐藤 巖：みんな知ってる？歯ってどうなってる！？ エナメル質は唾液で強くなる，nico, February (110) : 26-27, クインテッセンス出版，2016.
4. 佐藤 巖：みんな知ってる？歯ってどうなってる！？ 上下の歯はどうしてガシッと噛み合う？，nico, March (111) : 26-27, クインテッセンス出版，2016.

E. 翻 訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. Sunohara M, Morikawa T, Yatsu T, Miwa Y, Yamazaki M, Sato I. Signaling molecules involved in initial formation of blood vessels during tooth development, 45th Annual Meeting and Exhibition of the American Association for Dental Research, Los Angeles, USA, p126, 2016.
2. Sato I, Miwa Y, Sunohara M, Yamazaki M, Yatsu T. Genetic response of angiogenesis markers to embryonic mouse masseter muscle development, 45th Annual Meeting and Exhibition of the American Association for Dental Research, Los Angeles, USA, p126, 2016.
3. Miwa Y, Sunohara M, Yamazaki M, Sato I. Thyroid hormone receptor expression of tooth germ and alveolar bone in amphibian model, 45th Annual Meeting and Exhibition of the American Association for Dental Research, Los Angeles, USA, p127, 2016.
4. 佐藤 巖，三輪容子，春原正隆：高齢者の口蓋における動脈と神経の分布について，第 57 回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会・プログラム集，p34, 2015.
5. 春原正隆，佐藤 巖：歯の発生過程における血管形成の分子制御機構，第 57 回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会・プログラム集，p41, 2015.
6. Ueno R, Sato I, Ohshima K, Grant C. Townsend. Distal and terminal reduction of the maxillary molars in the Rufous Bettong (*Aepyprymnus rufescens*), 第 121 回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集，p186, 2016.
7. Sato I, Yuri A, Miwa Y, Hara S, Sunohara M. Expression of CGRP in embryonic mouse mandible, 第 121 回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集，p180, 2016.
8. Sunohara M, Morikawa S, Sato I. Expression patterns of signaling molecules in vasculogenesis of mouse embryo, 第 121 回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集，p202, 2016.
9. Ren K, Miwa Y, Sato I, Yi Kai, Dai Y, Kinoshita M, Yi SQ. Reinvestigation of the suspensory muscle of the duodenum in cadaver dissection, 第 121 回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集，p163, 2016.

G. 講 演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 春原正隆, 佐藤 巖: 咬筋の発達における血管関連因子からみた筋細胞と間葉系細胞のダイナミクス, 第 57 歯科基礎医学会サテライトシンポジウム 11「口腔機能を担う筋が持つ潜在能力を探る一筋の分化と可塑性に関する最近の筋研究の動向―」, シンポジスト講演, 日本歯科大学新潟生命歯学部, 新潟県, 2015 年 9 月 11 日.
2. 三輪容子, 佐藤 巖: インプラント治療に係る脈管の肉眼解剖, 第 57 歯科基礎医学会サテライトシンポジウム 15「歯周組織の臨床と基礎 ―脈管系を中心に―」, シンポジスト講演, 日本歯科大学新潟生命歯学部, 新潟県, 2015 年 9 月 11 日.
3. 三輪容子, 春原正隆, 佐藤 巖: 甲状腺から分泌されるホルモンの各器官への影響, 第 121 回日本解剖学会総会・全国学術集会シンポジウム 16「腺を器官レベルで観る」, シンポジスト講演, 福島県立医科大学, 福島県, 2016 年 3 月 29 日.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

記載事項なし

● 解剖学第2講座 Department of Histology

1. 所属構成員等

教 授 菊池憲一郎
准 教 授 倉淵 眞悟 (～12月)
講 師 池田 利恵 (併任), 高田 清美
非 常 勤 講 師 中田 裕之, 池上 公章, 青木 一之, 藤澤 有香, 大沢 弘一
犬飼 善雄, 黒木 淳也, 藤島 明, 小川 享宏
書 記 補 佐藤住美江

2. 研究テーマ

- 1) 唾液腺の発生と分化 Development and differentiation of salivary gland.
- 2) 唾液腺の損傷と修復 Damage and repair of salivary gland.
- 3) 唾液腺の比較組織 Comparative histology of salivary gland.
- 4) 唾液腺の老化 Aging of salivary gland.
- 5) 上皮組織の再生 Regeneration of epithelial tissue.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

- 1) 菊池憲一郎 : Prof. Arthur R. Hand (University of Connecticut Health Center Dept. of Craniofacial Sciences, USA), Dr. Lily Mirels (University of California, Berkeley Department of Molecular and Cell Biology, USA), Prof. Anil G. Menon (University of Cincinnati, Dept. of Molecular Genetics, USA) との間で, 唾液腺の発生, 分化, 老化に関する共同研究を行っている.
- 2) 池田利恵 : Dr. R. S. Redman (Dept. of Veterans Affairs Medical Center, USA) と唾液腺の発達および再生について共同研究を行っている.

7. 外部・学内研究費

- 1) 日本学術振興会科学研究費助成事業科学研究費補助金, 基盤研究 (C) (新規), 平成 27～29 年度, bFGF と脂肪細胞培養法による上皮組織再生機構の解明, 菊池憲一郎 (代表), 池田利恵, 那須優則, 高田清美, 堀江哲郎 (分担), 4,810,000 円.

8. 研究業績

A. 著 書

1. 菊池憲一郎（分担執筆）：顕微鏡の使用法，組織標本と染色法，観察手順とスケッチの要領，1-5 頁，13. 口腔粘膜の発生と微細構造，103-111 頁，14. 唾液腺（口腔腺）の発生と微細構造，113-118 頁，15. 扁桃の発生と微細構造，119-122 頁，磯川桂太郎，下田信治，山本 仁 編著，カラーアトラス 口腔組織学 第4版，わかば出版株式会社，日本，2016 年，ISBN：978-4-89824-078-6C3047.

B. 原 著

1. 池田利恵，宮坂孝弘，合場千佳子，須田真理，浦野瑤子：本学専攻科学生への歯科医学教育におけるチーム基盤型学習（Team Based Learning：TBL）導入の教育効果の検討，○日本歯科大学東京短期大学雑誌，2015；5（1）：97-103.
Ikeda R, Miyasaka T, Aiba C, Suda M, Urano Y. Examination of the education effect of the Team Based Learning (TBL) introduction in the dental education for dental hygiene and dental technician students in the graduate programs of T College, ○ J. of The Nippon Dental University College at Tokyo, 2015；5（1）：97-103.
2. 池田亜紀子，須田真理，浦野瑤子，小倉千幸，鈴木 恵，関口洋子，市川順子，野村正子，合場千佳子，池田利恵：本学歯科衛生学科第3 学年学生の学生生活と就業意識に関する調査，○日本歯科大学東京短期大学雑誌，2015；5（1）：104-114.
Ikeda A, Suda M, Urano Y, Ogura C, Suzuki M, Sekiguchi Y, Ikeda R (10th) (10 authors). Research on student life and awareness about searching for job in third year dental hygiene students, ○ J. of The Nippon Dental University College at Tokyo, 2015；5（1）：104-114.
3. 保田麻里，池田利恵：看護学生における口腔ケア教育の現状と歯科保健行動との関連性，○日本歯科大学東京短期大学雑誌，2015；5（1）：60-67.
Yasuda M, Ikeda R. Association between the present conditions of oral care education and dental health behavior in nursing students, ○ J. of The Nippon Dental University College at Tokyo, 2015；5（1）：60-67.

C. 総説・解説

1. 池田利恵：カリキュラムに準じた科目紹介 基礎分野「科学的思考の基盤」「人間と生活」，歯科衛生士になるためのオリエンテーション2016，4，2016.
2. 池田利恵，合場千佳子，豊田真基，勝俣正之：歯科衛生士の就業状況と未就業歯科衛生士の復職支援に関する検討，東京都歯科衛生士会学術誌，32：15-24，2016.

D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

記載事項なし

E. 翻 訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 波多野泰夫, 小林さくら子, 菊池憲一郎, 南雲 保, 沼部幸博, 羽村 章: 日本歯科大学生命歯学部における禁煙と意識に関する実態調査, 第 34 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会プログラム・抄録集, 157, 2015.
2. 筒井健夫, 小川智久, 菊池憲一郎, 小林さくら子, 波多野泰夫, 羽村 章: 禁煙支援委員会活動への生命歯学部生の意見—生命歯学部長主催意見交換会のための記述式アンケートより—, 第 34 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会プログラム・抄録集, 158, 2015.
3. 小林さくら子, 波多野泰夫, 菊池憲一郎, 南雲 保, 沼部幸博, 羽村 章: 千代田区における歯科大学生と一般大学生の禁煙意識について, 第 34 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会プログラム・抄録集, 158, 2015.
4. Ikeda R, Kikuchi K, Sato S. Influence of Ginger Administration on Diabetic Rat Parotid Gland, 2016 AADR/CADR Annual Meeting & Exhibition Program Book, 81, 2016. (Los Angeles, March 16-19, 2016)
5. 渡辺奈和, 河合俊明, 岸 碧紀, 黒澤良樹, 瀬川史香, 樋浦 望, 高田清美, 池田利恵, 菊池憲一郎: resveratrol 投与による唾液腺への影響について, 第 121 回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集, 147, 2016.
6. 池田利恵, 合場千佳子, 豊田真基, 勝俣正之, 高橋哲夫: 歯科衛生士の就業状況と未就業歯科衛生士の復職支援に関する検討, 第 74 回日本公衆衛生学会総会抄録集, 506, 2015.
7. 宮坂孝弘, 合場千佳子, 浦野瑤子, 野村正子, 関口洋子, 須田真理, 池田利恵: 歯科衛生士教育におけるチーム基盤型学習法 (TBL) 導入の試み (第 2 報), 日本歯科衛生教育学会雑誌, 6 (2): 188, 2015.
8. 合場千佳子, 浦野瑤子, 市川順子, 鈴木 恵, 池田亜紀子, 池田利恵: 高齢者疑似体験を活用した歯科衛生士教育学習意欲を高めるカリキュラムの検討, 日本歯科衛生教育学会雑誌, 6 (2): 164, 2015.
9. 小倉千幸, 佐藤 勉, 浦野瑤子, 須田真理, 鈴木 恵, 池田亜紀子, 合場千佳子, 池田利恵, 小口春久: 企業における歯科衛生士業務に対する認知度調査と歯科講話の取り組み, 日本歯科衛生学会雑誌, 10 (1): 156, 2015.
10. 浦野瑤子, 合場千佳子, 小倉千幸, 関口洋子, 野村正子, 市川順子, 須田真理, 池田利恵, 小口春久: 歯科衛生学専攻生の実習に口腔内写真を活用した時の満足度と臨床現場での応用に関する検討, 日本歯科衛生学会雑誌, 10 (1): 145, 2015.
11. 鈴木 恵, 横山和良, 浦野瑤子, 小倉千幸, 池田亜紀子, 須田真理, 関口洋子, 市川順子, 野村正子, 合場千佳子, 池田利恵, 内川喜盛, 岡田智雄, 大津光寛, 大澤銀子, 北原和樹, 佐藤 勉, 小口春久: 本学 1 年生に実施した「コミュニケーション学」について 改定後のアンケート調査とその解析結果, 第 34 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会 プログラム・抄録集, 147, 2015.

G. 講 演

- (1) 特別講演・シンポジウム等での講演
記載事項なし

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 池田利恵：歯科衛生士の就業状況と未就業歯科衛生士の復職支援に関する検討，全国歯科衛生士教育協議会関東甲信越地区会，東京，2015 年 8 月 1 日．

● 生理学講座 Department of Physiology

1. 所属構成員等

教 授 今井 敏夫
准 教 授 佐伯 周子
講 師 高橋 誠之
助 教 井出 良治
非 常 勤 講 師 吉田 清幸, 小林 菊生, 加藤 健一, 萩原 和明, 福田 智英
山田 好秋, 小林 則之, 河内 嘉道, 池田 水脈, 吉田 清輝
角井 淳, 牧野 真也, 岩崎 浩介, 牧野 路生, 五木田 (田宮) 旬子
医 療 職 員 大岡 実菜
大 学 院 生 佐藤 那奈 (歯科麻酔学講座より出向)

2. 研究テーマ

- 1) 硫化水素による歯槽骨吸収に関する研究 Study on the alveolar bone absorption by hydrogen sulfide.
- 2) 肺, 気道からの求心性神経の活動ならびに篩状神経節ニューロンでのイオン動態についての研究 Studies on vagal afferent activities and the ionic mechanism for excitability of nodose ganglion neurons innervating the respiratory system.
- 3) 三叉神経支配領域の“疼痛伝達抑制機構”と“異常疼痛発症機構”についての研究 Studies on the descending inhibitory mechanism of trigeminal nociceptive transmission and the mechanism involved in development for allodynia/hyperalgesia originating from the trigeminal system.
- 4) 脳幹呼吸中枢を含む呼吸調節機構に内因性及び外因性因子が及ぼす影響に関する研究 Studies on the exogenous and endogenous factors, which influence activities in brainstem respiratory center and other respiratory control systems.
- 5) 小学生児童の味覚と嗜好に関する研究 Studies on the abilities to identify tastes and the taste preferences in Japanese elementary school children.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

- 1) 佐伯周子: McGill University (Montreal, Canada), Department of Physiology の Prof. Jacopo P. Mortola と哺乳類の生理機能発達に関する研究の学術交流ならびに共同研究を開始した。

7. 外部・学内研究費

- 1) 日本学術振興会科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金），若手研究（B）（継続），平成 26～28 年度，炎症性疼痛に対する三叉神経節内 GABA / GABA B 受容体シグナル伝達系の役割，高橋誠之（代表），3,510,000 円。
- 2) 日本学術振興会科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金），基盤研究（C）（継続），平成 27～29 年度，口臭原因物質による歯槽骨吸収を制御するメカニカルストレスの生理学的役割，今井敏夫（代表），那須優則（分担），4,810,000 円。

8. 研究業績

A. 著 書

- 1) 今井敏夫（分担執筆）：第 9 章 歯科健診および診療室における感染予防，302-308，口腔衛生学 2016，松久保隆，八重垣健，前野正夫，那須郁夫，小松崎明，杉原直樹 監修，一世印刷，東京，2016 年，ISBN：978-4-87078-181-8.
- 2) 今井敏夫（分担執筆）：第 11 章 歯科保健に必要な公衆衛生学，394-416，口腔衛生学 2016，松久保隆，八重垣健，前野正夫，那須郁夫，小松崎明，杉原直樹 監修，一世印刷，東京，2016 年，ISBN：978-4-87078-181-8.

B. 原 著

記載事項なし

C. 総説・解説

記載事項なし

D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

記載事項なし

E. 翻 訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 佐伯周子，井出良治，高橋誠之，今井敏夫：小学校児童における味覚の現状，J Oral Biosci, (Supple)：533，2015.
2. 肖 黎，佐伯周子，井出良治：歯髓細胞由来スフェロイドは三次元培養下で機能的な神経細胞に分化した，J Oral Biosci, (Supple)：563，2015.
3. Saiki C, Gokita J, Ide R, Takahashi M, Imai T. The ability to identify sweet and salty tastes in Japanese schoolchildren : a comparison with adults, J Physiol Sci, 66 (Supple) : S104, 2016.
4. 佐藤那奈，五木田句子，佐伯周子，今井敏夫，砂田勝久：デクスメデトミジンによる新生仔ラットの呼吸循環抑制作用にエファロキサンが与える効果，日本歯科麻酔学会雑誌，43：523，2015.

G. 講 演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

記載事項なし

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 佐伯周子：市川市立小学校における学童の味覚検査，市川市小児生活習慣予防検診検討委員会，市川市，2016 年 1 月 26 日．

● 生化学講座 Department of Biochemistry

1. 所属構成員等

教 授 今井 一志
准 教 授 千葉 忠成
講 師 須藤 遥
客 員 准 教 授 水沼 秀樹
非 常 勤 講 師 岡崎 真大, 笹谷 和伸, 柴田 征紀, 橋本 孝志, 宮坂 芳弘
宮澤 淳, 山崎 典孝
大 学 院 生 美原 希美, 山口 光祐

2. 研究テーマ

- 1) 口腔扁平上皮癌進展の制御機構 Regulatory pathways of oral squamous cell carcinoma progression.
- 2) 上皮間葉移行の転写制御と細胞内シグナル伝達 Transcriptional control and intracellular signaling cascades involved in the epithelial-mesenchymal transition pathway.
- 3) 非腫瘍性疾患の病態成立に働く細胞内シグナル伝達系と遺伝子発現制御機構 Intracellular signaling pathways and transcriptional regulation of gene expression involved in non-tumorigenic disease development and progression.
- 4) 関節リウマチ滑膜線維芽細胞様細胞の表現型変化と疾患の進行 The phenotypic alteration of rheumatoid arthritic synovial fibroblast-like cells and its implication in the disease progression.
- 5) 細胞分裂期・タウ蛋白の微小管切断阻害効果と腫瘍細胞における染色体不安定性の関連について Tau-mediated mitotic spindle protection against microtubule severing proteins in tumor cells.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) 平成 25 年度第 2 学年生命歯学探究で得られた研究成果を BMC Oral Health に発表した.
(Yamaguchi A, Kuroyama K, Tokura A, Saito A, Arikawa H, Hasebe T, Usui D, Yamaguchi K, Chiba T, Imai K. Krüppel-like factor 4 expression in oral carcinoma cells and hypermethylation at the gene promoter, BMC Oral Health, 2016 ; 16 : 13).

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

- 1) K. K. Chada 教授 (アメリカ合衆国, ニュージャージー医科歯科大学 Robert-Wood Johnson Medical School, 生化学講座), J. M. D'Armiento 准教授 (アメリカ合衆国, コロンビア大学 医学部, 麻酔学講座) と “口腔扁平上皮癌細胞に発現する high mobility group A-2 (HMGA2)

と標的遺伝子の癌進展に果たす分子機能の解明”について共同研究を行っている。

- 2) Y. Xia 博士（アメリカ合衆国, Salk Institute for Biological Studies, 分子細胞生物学部門遺伝学研究室）と“癌細胞の化学療法剤に対する抵抗性と IκB kinase-α (IKKα) の機能の解明”について共同研究を行っている。
- 3) J. Lamartine 教授（フランス, Claude Bernard, リヨン第 1 大学遺伝学研究所細胞分子生物学部門）と“ケラチノサイトにおける GATA binding protein 3 (GATA3) 標的遺伝子とその転写制御メカニズムの解明”について共同研究を行っている。

7. 外部・学内研究費

- 1) 平成 26 年度学術研究助成基金助成金, 基盤 (C) (継続), 平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月, KLF 依存性細胞分化—EMT 誘導因子の同定と口腔癌進行抑制効果の解析—, 今井一志 (代表), 千葉忠成, 須藤 遥 (分担), 1,560,000 円。

8. 研究業績

A. 著 書

記載事項なし

B. 原 著

1. *Shibata M, Chiba T, Matsuoka T, Mihara N, Kawashiri S, Imai K. Krüppel-like factors 4 and 5 expression and their involvement in differentiation of oral carcinomas, ◎☆Int. J. Clin. Exp. Pathol., 2015 ; 8 (4) : 3701-3709. (学位論文)
2. *Shirako Y, Taya Y, Sato K, Chiba T, Imai K, Soeno Y (8th) (8 authors) : Heterogenous tumor-stroma microenvironments of oral squamous carcinoma cells in tongue and nodal metastatic lesion in a xenograft mouse model, ◎☆J. Oral. Pathol. Med., 2015 ; 44 (9) : 656-668, doi : 10.1111/jop.12318. (学位論文)
3. Yamaguchi A, Kuroyama K, Tokura A, Saito A, Arikawa H, Hasebe T, Yamaguchi K (8th), Chiba T (9th), Imai K (10th) (10 authors) : Krüppel-like factor 4 expression in oral carcinoma cells and hypermethylation at the gene promoter, ◎☆BMC Oral Health, 2016 ; 16 : 13, doi : 10.1186/s12903-016-0172-5, <http://www.biomedcentral.com/1472-6831/16/13>. (参照 2016-02-05)

C. 総説・解説

記載事項なし

D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

記載事項なし

E. 翻 訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 山口光祐, 千葉忠成, 美原希美, 須藤 遥, 今井一志: 口腔癌細胞における Kruppel-like factor 4 発現とプロモーターのメチル化, 第 57 回日本歯科基礎医学会学術大会・総会プログラム集, P78, 2015.

G. 講 演

- (1) 特別講演・シンポジウム等での講演
記載事項なし
- (2) 講演会・研究会・研修会等での講演
記載事項なし

● 病理学講座 Department of Pathology

1. 所属構成員等

教 授 青葉 孝昭（～8月）
准 教 授 田谷 雄二，添野 雄一
講 師 佐藤かおり
助 教 白子 要一
非 常 勤 講 師 飯高 輝久，海野 力，大久保 悟，須藤 豊哉，田中 克法
西村 一郎，藤田 和也
大 学 院 生 辺見 卓男

2. 研究テーマ

- 1) 口腔病変の多次元病理形態解析 Multi-dimensional histopathological analysis of human oral lesions.
- 2) ヒト口腔癌の動物移植モデルにおける浸潤・転移機構の解析 Mechanistic understanding of tumorigenesis and metastasis of oral cancer cells in mouse xenograft model.
- 3) 顎顔面形成と発生異常 Maxillofacial development and pathogenesis of malformation.
- 4) 疾患モデルにおける non-coding RNA 分子の機能解析 Function and molecular architecture of protein non-coding RNAs in disease model mice.
- 5) 口腔病変の臨床病理診断 Clinico-pathologic diagnosis of lesions in oral cavity and related regions.
- 6) 病理学教科カリキュラムの ICT 革新 Innovation of Pathology learning system with multiple-media modalities.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) 第 57 回歯科基礎医学会ポスターコンペティション・モリタ優秀発表賞（病理学部門），白子要一（共同受賞者：佐藤かおり，田谷雄二，青葉孝昭，島津徳人，添野雄一），平成 27 年 9 月 13 日，マウス舌移植モデルにおけるヒト口腔扁平上皮癌細胞の浸潤・転移形質と癌微小環境。

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

- 1) 一般社団法人歯科基礎医学会第 1 回定期特別講演会，日本歯科大学生命歯学部（東京都），平成 27 年 4 月 25 日，日本歯科大学生命歯学部基礎系講座共催（統括責任者：佐藤 巖，講演会場責任者：田谷雄二）。
- 2) 一般社団法人歯科基礎医学会第 1 回定期特別講演会分野別分科会病理学，日本歯科大学生命歯学部（東京都），平成 27 年 4 月 25 日，病理学講座共催。

6. 国際交流状況

- 1) 添野雄一：Dr. Mrazek (UCLA, 米国) との「口腔粘膜疾患における Vault 複合体機能」解明に向けた研究連携.

7. 外部・学内研究費

- 1) 日本学術振興会科学研究費，基盤研究 (C) (継続)，平成 25～27 年度，口腔癌細胞のマウス同所移植モデルにおける腫瘍リンパ管新生と前転移ニッチ形成，添野雄一 (代表)，田谷雄二，佐藤かおり，島津徳人，青葉孝昭 (分担)，1,170,000 円.
- 2) 日本学術振興会科学研究費，基盤研究 (C) (継続)，平成 26～28 年度，マウス顎顔面発生におけるリンパ管新生と分子機構の解明，佐藤かおり (代表)，田谷雄二，添野雄一，島津徳人 (分担)，1,690,000 円.
- 3) 日本学術振興会科学研究費，挑戦的萌芽研究 (継続)，平成 26～27 年度，ダウン症歯髄幹細胞からの骨芽細胞分化を用いた顎顔面頭蓋成長異常診断への応用，佐々木康成 (代表)，田谷雄二 (分担)，1,950,000 円.
- 4) 日本学術振興会科学研究費，基盤研究 (C) (新規)，平成 27～29 年度，マウス舌筋発生における筋前駆細胞から筋サテライト細胞への分化誘導機構の解明，田谷雄二 (代表)，添野雄一，佐藤かおり，佐々木康成 (分担)，1,690,000 円.

8. 研究業績

A. 著 書

記載事項なし

B. 原 著

1. Uesugi N, Shimazu Y, Aoba T, Kikuchi K, Nagata M. High-resolution three-dimensional digital imaging of the human renal microcirculation : An aid to evaluating microvascular alterations in chronic kidney disease in humans, ☆◎Pathol. Int., 2015 ; 65 : 575-584, doi : 10.1111/pin.12339.
2. *Torii D, Soeno Y, Fujita K, Sato K, Aoba T, Taya Y. Embryonic tongue morphogenesis in an organ culture model of mouse mandibular arches: blocking Sonic hedgehog signaling leads to microglossia, ☆◎In Vitro Cell. Dev. Biol. Animal, 2015 ; 52 : 89-99, doi : 10.1007/s11626-015-9951-6. (学位論文)
3. *Sugimoto T, Taya Y, Shimazu Y, Soeno Y, Sato K, Aoba T. Three-dimensional visualization of developing neurovascular architecture in the craniofacial region of embryonic mice, ☆◎Anat. Rec., 2015 ; 298 : 1824-1835, doi : 10.1002/ar.23179. (学位論文)
4. *Shirako Y, Taya Y, Sato K, Chiba T, Imai K, Shimazu Y, Aoba T (7th), Soeno Y (8th) (8 authors). Heterogeneous tumor stromal microenvironments of oral squamous cell carcinoma cells in tongue and nodal metastatic lesions in a xenograft mouse model, ☆◎J Oral Pathol. Med, 2015 ; 44 : 656-668, doi : 10.1111/jop.12318. (学位論文)
5. Chiba T, Soeno Y, Shirako Y, Sudo H, Yagishita Y, Taya Y (9 authors). MALTI inhibition of oral carcinoma cell invasion and ERK/MAPK activation, ☆◎J. Dent. Res., 2015 ; 95 (4) : 446-452, doi : 10.1177/0022034515621740.

C. 総説・解説

記載事項なし

D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

1. 田谷雄二：マウス二次口蓋突起の先端上皮間接着の分子制御と口蓋裂の発症機構，科学研究費助成事業 研究成果報告書，2015.
2. 日本歯科大学 病理学講座編（青葉孝昭 監修，佐藤かおり，田谷雄二，添野雄一 編集）：卒前病態病理学講義のまとめ—生命科学の基礎から病態病理学の理解まで—，(株)キタ・メディア，東京，2015，ISBN：978-4-907832-19-3.

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 添野雄一，白子要一，島津徳人，田谷雄二，佐藤かおり，柳下寿郎，青葉孝昭：癌微小環境と非癌性病変にみられる脈管間質の多次元形態解析，日本病理学会会誌，104（1）：314（3-F-6），2015.
2. 白子要一，佐藤かおり，田谷雄二，青葉孝昭，島津徳人，添野雄一：マウス舌移植モデルにおけるヒト口腔扁平上皮癌細胞の浸潤・転移形質と癌微小環境，J.Oral Biosci., 57 (Suppl)：32 (No.P1-93)【ポスター】，192 (No.O1-F1)【口演】，2015.
3. 田谷雄二，添野雄一，白子要一，青葉孝昭，佐藤かおり：マウス顎顔面発生における静脈からのリンパ管内皮細胞の分化，J.Oral Biosci., 57 (Suppl)：239 (No.O2-G1)，2015.
4. 田谷雄二，添野雄一，白子要一，佐藤かおり：胎生期マウスの顎顔面領域におけるリンパ管初期発生，平成 27 年度日本歯科大学歯学会第 2 回ウィンターミーティング プログラム・抄録集，19，2015.
5. 浅野一成，岡部貞夫，荘司洋文，辺見卓男，柳下寿郎：舌白板症を経過観察としますか，あるいは積極的に切除しますか？—当院の舌白板症切除症例における臨床病理学的検討から考えられること—，第 34 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 プログラム・抄録集，143 (WS5-4)，2016.
6. 荘司洋文，浅野一成，辺見卓男，柳下寿郎，岡部貞夫：舌白板症症例における臨床病理学的検討，第 34 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 プログラム・抄録集，238 (P-14-1)，2016.
7. Soeno Y, Shirako Y, Taya Y, Shimazu Y, Sato K. Stromal configuration by human carcinoma transplantation in mouse tongue, AADR ANNUAL MEETING 2016 PROGRAMBOOK, 117 (No.1406), 2016.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 添野雄一，田谷雄二，佐藤かおり，白子要一：日本歯科大学生命歯学部における第 3 学年病態病理学実習，一般社団法人歯科基礎医学会第 1 回定期特別講演会分野別分科会病理学，日本歯科大学生命歯学部（東京都），平成 27 年 4 月 25 日.

- (2) 講演会・研究会・研修会等での講演
記載事項なし

● 微生物学講座 Department of Microbiology

1. 所属構成員等

教 授 古西 清司
准 教 授 高橋 幸裕
講 師 才木桂太郎, 田代有美子, 河原井武人
客 員 教 授 等 大隅 良典
非 常 勤 講 師 外崎 美香, 三浦 聡之, 中田 智之
大 学 院 生 安部 佐
聴 講 生 柴田 剛克

2. 研究テーマ

- 1) 慢性歯周炎原因菌の病原因子に関する遺伝学的, 生化学的研究 Genetical and biochemical study of virulence factors in bacteria associated with chronic periodontitis.
- 2) 侵襲性歯周炎原因菌の病原因子に関する遺伝学的, 生化学的研究 Genetical and biochemical study of virulence factors in bacteria associated with aggressive periodontitis.
- 3) ビリダンスレンサ球菌菌体表層抗原の病原性に関する分子生物学的解析 Molecular biological analysis of surface antigen of viridans streptococci for pathogenicity.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) 大阪大学 工学部 井上 豪教授, 薬学部 土井健史教授, 辻川和丈教授, 医学部 武田 潔教授らと本講座との共同研究(新規消毒薬の作用機序の研究)が始まった.
- 2) 大隅良典客員教授が, 4 月に日本内分泌学会マイスター賞, 10 月にカナダ・ガードナー賞, 11 月に慶応医学賞, 12 月に国際生物学賞を受賞した. また, 11 月には文化功労者になった.

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

- 1) カンザス大学の田草川房夫教授と慢性歯周炎原因菌が産生するプロテアーゼ (DPPIV) の結晶化に関して共同研究.

7. 外部・学内研究費

- 1) 日本学術振興会科学研究費, 基盤 (C) (継続), 2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日, 侵襲性歯周炎原因菌のキノールペルオキシダーゼの病原性に関する研究, 古西清司 (代表), 100 万円.
- 2) 株式会社エースネット委託研究費 (継続), 2015 年 6 月 1 日～2016 年 3 月 31 日, マタタ

- コロ（消毒薬）の検証試験，古西清司（代表），30 万円．
- 3) 株式会社エースネット委託研究費，（継続）2015 年 4 月 1 日～9 月 30 日，消毒薬・マタタコロの検証試験，古西清司（代表），50 万円．
- 4) 平成 27 年度科学研究費申請研究費（公募研究 7）（新規），2015 年 5 月 25 日～2016 年 3 月 31 日，真正細菌の毒素分泌におけるキノールペルオキシダーゼの役割，河原井武人（代表），152 万円．

8. 研究業績

A. 著 書

- 1) 古西清司（分担執筆）：微生物学総論，2-19，口腔微生物学—感染と免疫—（第 5 版），石田和幸，小川知彦，落合邦康，葛城啓彰，上西秀則，清浦有祐，古西清司，柴田幸永，田中芳彦，中澤 太，浜田信城，前田伸子 編集，学健書院，東京，2015 年．
- 2) 古西清司（分担執筆）：細菌学総論，22-47，口腔微生物学—感染と免疫—（第 5 版），石田和幸，小川知彦，落合邦康，葛城啓彰，上西秀則，清浦有祐，古西清司，柴田幸永，田中芳彦，中澤 太，浜田信城，前田伸子 編集，学健書院，東京，2015 年．
2. 田代有美子，高橋幸裕，古西清司（分担執筆）：第 2 章 感染性心内膜炎，99-108，腸内細菌・口腔細菌と全身疾患，落合邦康 監修，シーエムシー出版，東京，2015 年．

B. 原 著

1. Kawarai T, Narisawa N, Suzuki Y, Nagasawa R, Senpuku H. *Streptococcus mutans* biofilm formation is dependent on extracellular DNA in primary low pH conditions, J. Oral Biosci, 58 (2) : 55-61, doi : 10. 1016/j. job. 2015. 12. 004.
2. Zhou P, Liu J, L X, Takahashi Y, Qi F. The sialic acid binding protein, Hsa, in *Streptococcus gordonii* DL1 also mediates intergeneric coaggregation with *Veillonella* species, ☆◎PLOS ONE, 2015 ; 10 (11) : e0143898, doi : 10. 1371/ journal pone 0143898.
3. Torii D, Tsutsui TW, Watanabe N, Konishi K. Bone morphogenetic protein 7 induces cementogenic differentiation of human periodontal ligament-derived mesenchymal stem cells, ☆◎Odontology, 2016 ; 104 (1) : 1-9, doi : 10. 1007/s10266-014-0182-1.

C. 総説・解説

1. 古西清司，高橋幸裕，才木桂太郎，田代有美子，河原井武人：感染微生物学実習書，日本歯科大学，東京，2015 年．
2. 鈴木さつき，田谷雄二，高橋幸裕，北原和樹，高田清美，三輪容子：平成 26 年度動物実験報告，日本歯科大学生命歯学部 生物科学施設委員会，東京，2015 年．

D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

記載事項なし

E. 翻 訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 田代有美子, 高橋幸裕, 古西清司 : *Streptococcus gordonii* Hsa とシアロ糖複合糖質との結合には 2 つのアルギニン残基が関与する, 第 57 回歯科基礎医学会学術大会・総会カタログおよび要旨集, 484 (P2-126), 2015, <http://www.jaob.jp/file/abstract/57/all.pdf>
2. 河原井武人, 安部 佐, 古西清司 : 侵襲性歯周炎原因菌のキノールペルオキシダーゼに対する阻害剤, 平成 27 年度日本歯科大学歯学会大会・総会プログラム・抄録集, 20 (P-9), 2015.
3. 田代有美子, 高橋幸裕, 小口莉代, 古西清司 : *Streptococcus gordonii* Hsa とシアロ糖タンパク質との結合には 2 つのアルギニン残基が関与する, 平成 27 年度日本歯科大学歯学会大会・総会プログラム・抄録集, 19 (P-8), 2015.
4. 小口莉代, 高橋幸裕, 島津貴咲, 田代有美子, 河原井武人, 荻部洋行, 古西清司 : ポリスチレン表面へのバイオフィルム形成における *Streptococcus gordonii* の Hsa アドヘジンの役割, 平成 27 年度日本歯科大学歯学会大会・総会プログラム・抄録集, 20 (P-10), 2015.

G. 講演

- (1) 特別講演・シンポジウム等での講演

記載事項なし

- (2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 高橋幸裕 : 口腔細菌の付着・定着因子 学生のための講演会, 愛知学院大学歯学会, 名古屋, 2015 年 11 月 28 日.

● 薬理学講座 Department of Pharmacology

1. 所属構成員等

教 授 筒井 健夫
講 師 肖 黎
助 教 鳥居 大祐, 小林 朋子
客 員 教 授 等 石川 祥一, 本田 健, 福田 真也
非 常 勤 講 師 大山 正芳, 折笠 博之, 笠島 生也, 小林 輝生, 八木 英一
臨 床 研 究 生 熊倉 伸一, 金井友起子, 三橋 昭子
大 学 院 生 松井美紀子

2. 研究テーマ

- 1) 歯髄幹細胞の局在と機能解析 Localization of dental pulp stem cells and their function.
- 2) 歯・歯髄の再生技術開発 Development of the methods of regeneration of teeth and dental pulps.
- 3) 歯髄細胞における薬剤感受性とホルモン応答解析 Analysis of the response of medicines and hormones to dental pulp cells.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) 筒井健夫：2015 年 8 月 29, 30 日に日本歯科大学生命歯学部にて開催された日本組織培養学会培養講習会コース I の準備および講師を務めた。
- 2) 筒井健夫：2016 年 2 月 20, 21 日に日本歯科大学生命歯学部にて開催された日本組織培養学会培養講習会コース I の準備および講師を務めた。

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

- 1) 米国国立衛生研究所 (NIH) の国立歯科頭蓋研究所 (NIDCR) の Pamela Robey 博士らと共同研究を行っている。

7. 外部・学内研究費

- 1) 日本学術振興会科学研究費助成事業科学研究費補助金, 若手研究 (B) (継続), 平成 25～27 年度, 多色発光ベクターによるヒト歯根膜活性化薬物のハイスループット選別法の開発, 鳥居大祐 (代表), 4,030,000 円。
- 2) 日本学術振興会科学研究費助成事業科学研究費補助金, 基盤 (C) (継続), 平成 26～28 年度, 非ステロイド性抗炎症薬による幹細胞の分化能・組織再生能の解明と応用法の開発, 筒井健夫 (代表), 4,810,000 円。
- 3) 日本学術振興会科学研究費助成事業科学研究費補助金, 若手研究 (B) (継続), 平成 26～

28 年度, ヒト歯髄細胞スフェロイド由来神経組織と漢方薬剤を用いた新規中枢神経再生法, 肖 黎 (代表), 3,770,000 円.

- 4) 特定非営利活動法人 日本老化防御医科学センター研究費 (新規), 平成 27 年 12 月 10 日～平成 28 年 12 月 9 日, 水素水, 天然植物由来抗酸化剤を用いた生活習慣病の予防治療効果の研究, 肖 黎 (代表), 600,000 円+抗酸化水製造装置, 溶存水素濃度計, 抗酸化水パック提供.
- 5) 京都大学霊長類研究所共同利用・共同研究 (新規), 平成 27 年度, マカク歯髄幹細胞による歯髄再生法の開発, 筒井健夫 (代表), 63,000 円.
- 6) 日本歯科大学公募研究 3 (新規), 平成 27 年度, 歯髄細胞バンクを基盤とした再生医療実現化プロジェクト, 筒井健夫 (代表), 8,000,000 円.

8. 研究業績

A. 著 書

記載事項なし

B. 原 著

1. Torii D, Tsutsui TW, Watanabe N, Konishi K. Bone morphogenetic protein 7 induces cementogenic differentiation of human periodontal ligament-derived mesenchymal stem cells, ◎☆Odontology, 2016 ; 104 (1) : 1-9, doi : 10.1007/s10266-014-0182-1.
2. *Torii D, Soeno Y, Fujita K, Sato K, Aoba T, Taya Y. Embryonic tongue morphogenesis in an organ culture model of mouse mandibular arches: blocking Sonic hedgehog signaling leads to microglossia, ◎☆In Vitro Cell Dev Biol Anim, 2016 ; 52 (1) : 89-99, doi : 10.1007/s11626-015-9951-6. (学位論文)
3. Tsutsui TW. In vivo stem cell transplantation using reduced cell numbers, ◎☆Methods Mol Biol, 2015 ; 1212 : 201-207, doi : 10.1007/7651_2014_120.

C. 総説・解説

1. 筒井健夫: 歯髄細胞に魅せられて～その潜在能力に誘われるこれからの歯科治療～, 日本歯科大学交友会・歯学会会報, 41 (2) : 7-10, 2015.
2. 筒井健夫: 大学院生命歯学研究科 薬理学, 歯学, 103 (春季特集号) : 90, 2016.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 筒井健夫, 鈴木樹理: マカク歯髄幹細胞の細胞特性の解析と in vivo への応用・開発, 霊長類研究所年報, Vol.45 : p109, 2015.

E. 翻 訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 筒井健夫, 小川智久, 菊池憲一郎, 小林さくら子, 波多野泰夫, 羽村 章: 禁煙支援委員会活動への生命歯学部生の意見—生命歯学部長主催意見交換会のための記述式アンケート

- より一, 第 34 回日本歯科医学教育学会および学術大会 プログラム・抄録集, 158, 2015.
2. 肖 黎, 佐伯周子, 井出良治: 歯髄細胞由来スフェロイドは三次元培養下で機能的な神経細胞に分化した, J. Oral Biosci., 57 (Suppl) : 242, 2015.
 3. 松井美紀子, 小林朋子, 筒井健夫: CD146 陽性ヒト歯髄幹細胞の細胞特性解析, J. Oral Biosci., 57 (Suppl) : 304, 2015.
 4. 小林朋子, 鳥居大祐, 筒井健夫: 歯髄幹細胞マーカー同定のための網羅的遺伝子発現データ解析法の検討, 平成 27 年度日本歯科大学歯学会 第 2 回ウインターミーティング プログラム・抄録集, 26, 2015.
 5. Matsui M, Kobayashi T, Tsutsui TW. Characterization Of CD146 Positive Human Dental Pulp Stem Cells, 45th Annual Meeting and Exhibition of the AADR, Los Angeles, 3/16-3/19, 2016, <https://aadr2016.zerista.com/poster/member/56495>, (参照 2016 年 3 月 22 日).

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

記載事項なし

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 筒井健夫: これまで培われてきたことそしてこれからの展望～薬理学講座～, 日本歯科大学生命歯学部薬理学講座大学院 OB 会学術講演会, パシフィコ横浜 (神奈川県), 2015 年 10 月 18 日.
2. 筒井健夫: 「教育と研究の今、そしてその先」—伝えられること—, 筒井健夫先生の教授就任を祝う会, 日本歯科大学生命歯学部 (東京都), 2015 年 11 月 15 日.
3. 筒井健夫: 歯髄幹細胞の潜在能力について—新たな歯科医療としての可能性—, 日本歯科大学水泳部 OB 会会員教授就任祝賀会, ホテルメトロポリタンエドモント (東京都), 2016 年 1 月 30 日.

● 衛生学講座 Department of Oral Health

1. 所属構成員等

教 授 八重垣 健, 福田 雅臣
講 師 田中とも子, 伊井 久貴
助 教 岡田 実緒 (4月～6月)
客 員 教 授 等 Donald M. Brunette (4月～3月), 北村 中也 (4月～3月)
非 常 勤 講 師 鴨田 博司, 西田 良和, 市川 信一, 坂口 武洋, 坂口 早苗
一宮 頼子, 松丸 二郎, 小黒 章, 岩上 智彦, 本間 篤子
鴨井 初子, 佐藤 勝弘, 加賀美毅樹, 合地 俊治, 新原 英嗣
長谷川嘉一, 池田 和博 (4月～9月), 弥郡 彰彦, 奥平 晴子
福井 直人, 中曾根いずみ
大 学 院 生 Ioan Matei, Hiromi Yagi Mendoza, 横山 知美

2. 研究テーマ

- 1) ヒト歯髄幹細胞からの臓器分化と再生医療 Regenerative Medicine : differentiation protocols of dental pulp stem cells to several organs.
- 2) 小児の生活習慣病予防のためのヘルスプロモーション Health promotion for preventing life style disease in children.
- 3) 学校保健研究 Study on school health.
- 4) 硫化水素の発癌性・歯周病原性・細胞分化誘導に関する研究 Study on carcinogenesis, periodontal pathogenesis and cell differentiation of hydrogen sulfide.
- 5) 骨芽細胞・破骨細胞の情報伝達機構におよぼす硫化水素の影響 Effect of hydrogen sulfide on signal transduction mechanisms of osteoblastic and osteoclastic cells.
- 6) 口臭治療法開発に関する研究 Study on the development of halitosis treatments.
- 7) 高齢者・小児の口腔機能に関する研究 Study on the oral functions in elderlies and children.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

- 1) 八重垣健：アメリカ歯科医師会科学顧問留任.
- 2) 八重垣健：International Association for Breath Odor Research 会長.
- 3) 八重垣健：University of British Columbia, 歯内療法学主任 Markus Haapasalo 教授と歯髄幹細胞分化の共同研究を継続している.

- 4) 八重垣健：University of British Columbia, Donald Brunette 教授と歯肉上皮幹細胞分化の共同研究を継続している。
- 5) 伊井久貴：Western University, Department of Physiology and Pharmacology, Jeffly Dixon 教授, Cheryle Séguin 助教と椎間板における異所性石灰化の共同研究を継続している。

7. 外部・学内研究費

- 1) 平成 26 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 挑戦的萌芽 (継続), 平成 25~27 年度, 次世代リバーヌエイジング: 体内硫化水素曝露幹細胞による老化組織の新生, 八重垣健 (代表), 3,640,000 円。
- 2) 平成 27 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C) (新規), 平成 27~29 年度, 小児のオーラルヘルスプロモーション: 嫌気的人工口腔装置による歯周疾患予防法の開発, 田中とも子 (代表), 八重垣健 (分担), 4,550,000 円。
- 3) 東京都歯科医師会, 平成 27 年度, 口腔満足度の質を担保するためのセルフチェックシートの開発に関する研究, 福田雅臣 (代表), 200,000 円。

8. 研究業績

A. 著 書

1. 1) 八重垣健 (分担): 第 1 章 総論 1 口腔衛生学の定義, 松久保隆, 八重垣健, 前野正夫, 那須郁夫, 小松崎明, 杉原直樹 編, 22-25, 口腔衛生学 2016, 一世出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-87078-181-8.
- 2) 八重垣健 (分担): 第 1 章 総論 4 予防のレベル, 松久保隆, 八重垣健, 前野正夫, 那須郁夫, 小松崎明, 杉原直樹 編, 54-56, 口腔衛生学 2016, 一世出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-87078-181-8.
- 3) 八重垣健 (分担): 第 4 章 疾病のリスク評価と保健指導のための基礎事項 4 バイオフィルム, 松久保隆, 八重垣健, 前野正夫, 那須郁夫, 小松崎明, 杉原直樹 編, 120-125, 口腔衛生学 2016, 一世出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-87078-181-8.
- 4) 八重垣健 (分担): 第 4 章 疾病のリスク評価と保健指導のための基礎事項 7 口臭, 松久保隆, 八重垣健, 前野正夫, 那須郁夫, 小松崎明, 杉原直樹 編, 135-143, 口腔衛生学 2016, 一世出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-87078-181-8.
- 5) 八重垣健 (分担): 第 5 章 歯科の二大疾患 1 病因論, 松久保隆, 八重垣健, 前野正夫, 那須郁夫, 小松崎明, 杉原直樹 編, 144-154, 口腔衛生学 2016, 一世出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-87078-181-8.
- 6) 八重垣健 (分担): 第 7 章 口腔状態と口腔機能の評価と指標 5 保健行動とその評価, 松久保隆, 八重垣健, 前野正夫, 那須郁夫, 小松崎明, 杉原直樹 編, 199-204, 口腔衛生学 2016, 一世出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-87078-181-8.
- 7) 八重垣健 (分担): 第 8 章 歯科疾患の予防方法 11 診療室での予防プログラム—北米との比較から, 松久保隆, 八重垣健, 前野正夫, 那須郁夫, 小松崎明, 杉原直樹 編, 290-296, 口腔衛生学 2016, 一世出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-87078-181-8.
- 8) 福田雅臣 (分担): 第 10 章 公衆衛生活動 2 学校保健, 松久保隆, 八重垣健, 前野正夫, 那須郁夫, 小松崎明, 杉原直樹 編, 333-346, 口腔衛生学 2016, 一世出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-87078-181-8.

- 9) 福田雅臣 (分担) : 第 10 章 公衆衛生活動 3 産業保健, 松久保隆, 八重垣健, 前野正夫, 那須郁夫, 小松崎明, 杉原直樹 編, 347-358, 口腔衛生学 2016, 一世出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-87078-181-8.
- 10) 福田雅臣 (分担) : 第 10 章 公衆衛生活動 5 障害者保健, 松久保隆, 八重垣健, 前野正夫, 那須郁夫, 小松崎明, 杉原直樹 編, 371-382, 口腔衛生学 2016, 一世出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-87078-181-8.
- 11) 八重垣健 (分担) : 第 10 章 公衆衛生活動 7 国際協力, 松久保隆, 八重垣健, 前野正夫, 那須郁夫, 小松崎明, 杉原直樹 編, 383-393, 口腔衛生学 2016, 一世出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-87078-181-8.
2. 福田雅臣 (分担) : どうぶつの歯, パワーポイントで進める楽しく学び「生きる力」をはぐくむ歯・口の保健教育, 東山書房, 京都, 2016, ISBN : 978-4-8278-1536-8.
3. 福田雅臣 (共著) : 歯科五法コンメンタール, 歯科医療関連法規, 歯科五法コンメンタール第 2 版, ヒョーロン・パブリッシャーズ, 東京, 2016, ISBN : 978-4-86432-031-3.
4. 福田雅臣 (分担) : 動物の歯と人間の歯, 保健総合大百科<小学校編>2015, 少年写真新聞社, 東京, 2015, ISBN : 978-4-87981-525-5.
5. 福田雅臣 (分担) : 医事衛生法規, 診療記録・診療情報, スタンダード社会歯科学第 6 版, 学建書院, 東京, 2016, ISBN : 978-4-7624-5644-2.
6. 福田雅臣 (分担) : 口腔・消化管の感染症: 常在菌のつくった酸が歯をとかす「むし歯」, 驚異のバクテリア, ニートンムック, ニュートンプレス, 東京, 2016, ISBN : 978-4-315-52034-7.
7. 福田雅臣 : 保育所 (園)・幼稚園は自律的健康づくりへのスタート, 日本学校歯科医会雑誌, 119 : 85, 2016.
8. 福田雅臣 : 保育所 (園)・第 62 回日本学校保健学会について, 日本学校歯科医会雑誌, 119 : 97, 2016.

B. 原 著

記載事項なし

C. 総説・解説

1. 福田雅臣 : 要観察歯 (CO) への対応, 中学保健ニュース, 1626 : 1, 2015.
2. 福田雅臣 : 口腔ケア, 小児内科, 42 : 2105-2109, 2015.
3. 福田雅臣 : 保育所 (園)・幼稚園は自律的健康づくりへのスタート, 日本学校歯科医会雑誌, 119 : 85, 2016.
4. 福田雅臣 : 第 62 回日本学校保健学会について, 日本学校歯科医会雑誌, 119 : 97, 2016.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

記載事項なし

E. 翻 訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 福田雅臣, 戒田俊之: 新しい歯科健診“口腔機能健康測定”と勤務形態との関連性に関する研究, 産業衛生学会雑誌, 57: 374, 2015.
2. 福田雅臣, 尾崎哲則, 工藤貴之, 一宮頼子, 佐藤勝弘, 大竹千生: 「食と咀嚼」をテーマにした学校保健教育効果の評価に関する研究, 口腔衛生学会雑誌, 65: 209, 2015.
3. 福田雅臣, 高田 靖, 高野直久, 山崎一男: 「歯と口の満足度」評価法に関する研究—改変セルフチェックシートでの評価—, 日本公衆衛生学会雑誌, 62: 444, 2014.
4. 北見英理, 戒田俊之, 福田雅臣: 茨城県 A 市における口腔機能健康測定実施状況に関する報告, 62: 440, 2014.
5. 福田雅臣, 前野正夫, 戸田芳雄, 田中英一, 刈部 充, 藤川修成, 田村道子, 平澤規子, 高橋宏明, 今井健二, 齋藤愛夫: 「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業」の評価に関する研究 その2 平成 25・26 年事業の評価, 学校保健研究, 57: 215, 2015.
6. 田中とも子, 八重垣健: 沖縄県における小児のヘルスプロモーションのための 3 年間のコホート研究, 口腔衛生学会雑誌, 65: 210, 2015.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 八重垣健: 利益相反について, 第 58 回春季日本歯周病学会・学術大会倫理委員会企画講演, 千葉, 2015 年 5 月 16 日.
2. 福田雅臣: 勤務形態と口腔保健状況の関連性, 第 88 回日本産業衛生学会・シンポジウム, 夜勤交代勤務の新しい課題, 大阪, 2015 年 5 月 15 日.
3. 福田雅臣: 保育園・幼稚園は自律的健康づくりへのスタート, 第 79 回全国学校歯科保健研究大会, 領域別協議会保育所(園)・幼稚園部会, 長野, 2015 年 10 月 30 日.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 福田雅臣: いつまでも良く噛み食べる楽しみ, 東京都歯科医師会都民向公開講座, 東京都歯科医師会, 2015 年 10 月 24 日.
2. 福田雅臣: 美味しさをはぐくむ食教育 ～五感と食育～, 下関市学校保健会歯科医部会講演会, 山口, 2015 年 11 月 27 日.
3. 福田雅臣: 学校歯科保健の活性化を考える, 西多摩学校歯科保健研修会, 東京 (2015 年 2 月 25 日), 荒川区学校歯科医会講演会, 東京 (2 月 26 日).
4. 福田雅臣: これからの地域歯科保健活動を考える, 歯科保健関係者合同研修会, 山梨, 2015 年 2 月 26 日.

● 歯科理工学講座 Department of Dental Materials Science

1. 所属構成員等

教 授 宮坂 平
准 教 授 青木 春美
助 教 青柳 有祐
客 員 教 授 等 大竹 康成, 須田 勇己
非 常 勤 講 師 清水 昭博, 高木 邦明, 長谷川有紀, 大竹美智子
事 務 職 員 丸田久美子
大 学 院 生 石田 祥己, 三浦 大輔

2. 研究テーマ

- 1) 3D プリンタの歯科応用に関する研究 Studies on the dental application of 3D printers.
- 2) CAD/CAM の歯科応用に関する研究 Dental application of CAD/CAM.
- 3) 低収縮性低粘性モノマーを用いたコンポジットレジンの開発 Development of composite resin using novel low shrinking and low viscous monomer.
- 4) レーザーを用いた歯科材料の寸法変化測定 Dimensional change of dental materials measured by laser sensor.
- 5) 貴金属クラスターの床用レジンへの応用 Application of noble metal cluster to the denture base resin.
- 6) インプラント・マグネットデンチャーの維持力についての研究 Studies on retentive force of implant magnet denture.
- 7) 矯正用ブラケットの歯質接着挙動の研究 Adhesive behavior of orthodontic bracket to human teeth.
- 8) 6 軸マイクロセンサーを用いた矯正力の測定 Measurement of the orthodontic force using 6-axial micro-sensor.
- 9) メソポーラスシリカを用いたコンポジットレジンの開発 Development of dental composites using meso-porous silica.
- 10) 表面滑沢硬化材を適応した床用レジン の物性に関する研究 Physical and mechanical properties of surface hardening reagent applied denture base resin.
- 11) 表面滑沢硬化材を適応したコンポジットレジン の物性に関する研究 Physical and mechanical properties of surface hardening reagent applied composite resin.
- 12) 光触媒を用いた抗菌性歯科材料の開発 Development of antibacterial dental materials using light induced catalyst.
- 13) 歯科用合金の腐食および変色に関する研究 Studies of corrosion and tarnish of dental alloys.
- 14) 機能水の歯科利用 Dental application of functional waters.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

- 1) 石田祥己, Dimensional accuracy of dental casting patterns created by 3D printers, 2016 年 1 月 12 日, 日本歯科大学.

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

- 1) 株式会社松風 (委託研究), (新規), 平成 27 年度, 異なる曲げ試験法によるハイブリットレジンブロックの強度の評価に関する研究, 宮坂 平 (代表), 石田祥己, 青木春美, 青柳有佑, 三浦大輔 (分担), 300,000 円.

8. 研究業績

A. 著 書

1. 宮坂 平 (分担執筆): 3 章 材料の性質, 27-40, 46-51, スタンダード歯科理工学—生体材料と歯科材料—第 6 版, 学建書院, 東京, 2016, ISBN : 978-4-7624-4614-6.
2. 宮坂 平 (分担執筆): 最新歯科技工士教本 歯科理工学, 全国歯科技工士教育協議会編, 10 章 新しい加工技術, 181-189, 医歯薬出版, 東京, 2016, ISBN : 978-4-263-43162-7.

B. 原 著

1. *Aoyagi Y, Miyasaka T, Ando N: Application of noble metal cluster to PMMA resin and influence on mechanical properties and color, ☆◎Dent Mater J, 2015 ; 34 (6) : 781-788, doi : 10.4012/dmj.2014-173. (学位論文)
2. *Ishida Y, Miyasaka T : Dimensional accuracy of dental casting patterns created by 3D printers, ☆◎Dent Mater J, 2016 ; 35 (2) : 250-256, doi : 10.4012/dmj.2015-278. (学位論文)

C. 総説・解説

記載事項なし

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

記載事項なし

E. 翻 訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 青柳有祐, 宮坂 平, 青木春美, 相馬弘子, 石田祥己, 三浦大輔: ステンレスメッシュフィルターによるアマルガム切削片回収, 日歯理工誌, 34 (2) : 95, 2015.

2. 三浦大輔, 宮坂 平, 青木春美, 相馬弘子, 青柳有祐, 石田祥己: 試験法の違いがセラミックスの曲げ強さに及ぼす影響, 日歯理工誌, 34 (2) : 150, 2015.
3. 青木春美, 宮坂 平, 相馬弘子, 青柳有祐, 石田祥己, 三浦大輔: コンポジットレジンに対する次亜塩素酸水の影響, 日歯理工誌, 34 (2) : 159, 2015.
4. 石田祥己, 宮坂 平, 青木春美, 相馬弘子, 青柳有祐, 三浦大輔, 河合泰輔, 浅海利恵子: コンポジットレジンのフィラーが近赤外線透視法に及ぼす影響, 日歯理工誌, 34 (2) : 161, 2015.
5. 原 新子, 平野萌香, 鈴木智之, 細谷 諒, 宝田 航, 肱黒和子, 大山加奈恵, 坂本篤治, 杉村美侑, 清水美穂, 名倉千琴, 宮坂 平, 青柳有祐, 青木春美: 日本歯科大学生命歯学部学生における学年の違いによる印象材の取り扱い技術, 第 34 回, 日歯教誌 (JJDEA 日本歯科医学教育学会) 総会および学術大会, プログラム・抄録集, 110, 2015.
6. 石田祥己, 宮坂 平, 青木春美, 青柳有祐, 三浦大輔, 河合泰輔, 浅海利恵子: CT 画像と 3D プリンタを用いて作製した下顎骨模型の 3D スキャンによる寸法精度に関する研究, 第 221 回関東地方会・第 35 回北日本地方会・第 23 回合同地方会講演抄録, 3, 2015.
7. Saze N, Oda S, Arai K, Tochigi K, Miyasaka T: Do tapered and square arch forms deliver different orthodontic forces? - Light round NiTi preformed archwires -, Am Assoc Ortho Annual Session, 2015.
8. 石田祥己: 歯科用 CT 画像を用い 3D プリンタにより作製した下顎骨模型の寸法精度に関する研究, 平成 27 年度日本歯科理工学会関東地方会夏季セミナー プログラムおよび抄録集, 9, 2015.
9. 三浦大輔, 宮坂 平, 青木春美, 青柳有祐, 石田祥己: コンポジットレジンプロックの曲げ試験による評価, 日歯理工誌, 34 (5) : 339, 2015.
10. 石田祥己, 宮坂 平, 青木春美, 青柳有祐, 三浦大輔, 河合泰輔, 浅海利恵子: コンポジットレジンの色調が近赤外線透視法に及ぼす影響, 日歯理工誌, 34 (5) : 353, 2015.
11. 青木春美, 宮坂 平, 青柳有祐, 石田祥己, 三浦大輔: 各種表面滑沢硬化材薄膜の機械的性質の評価, 日歯理工誌, 34 (5) : 356, 2015.
12. 青柳有祐, 宮坂 平, 青木春美, 石田祥己, 三浦大輔: メッシュクロスを用いたアマルガム削片の回収, 日歯理工誌, 34 (5) : 390, 2015.
13. 石田祥己, 宮坂 平, 青木春美, 青柳有祐, 三浦大輔, 河合泰輔, 浅海利恵子: コンポジットレジンの色調が近赤外線透視法に及ぼす影響, 平成 27 年度日本歯科大学歯学会第 2 回ウインターミーティングプログラム・抄録集, 12, 2015.
14. 青木春美, 宮坂 平, 青柳有祐, 石田祥己, 三浦大輔: コンポジットレジンに対する各種次亜塩素水の影響, 平成 27 年度日本歯科大学歯学会第 2 回ウインターミーティングプログラム・抄録集, 26, 2015.
15. 三浦大輔, 宮坂 平, 青木春美, 青柳有祐, 石田祥己: コンポジットレジンプロックの曲げ試験による評価, 平成 27 年度日本歯科大学歯学会第 2 回ウインターミーティングプログラム・抄録集, 27, 2015.
16. 青柳有祐, 宮坂 平, 青木春美, 石田祥己, 三浦大輔: メッシュクロスによるアマルガム削片の回収, 平成 27 年度日本歯科大学歯学会第 2 回ウインターミーティングプログラム・抄録集, 27, 2015.
17. 坂本篤治, 原 新子, 平野萌香, 杉村美侑, 細谷 諒, 宮坂 平, 青柳有祐, 青木春美:

日本歯科大学生命歯学部学生の学年の違いによる印象材の取り扱い技術，平成 27 年度日本歯科大学歯学会第 2 回ウインターミーティングプログラム・抄録集，28，2015.

18. 青木春美，宮坂 平，青柳有祐，石田祥己，三浦大輔：次亜塩素酸水がコンボジットレジンに及ぼす影響，口腔機水誌，17（1）：52-53，2016.
19. Saze N, Arai K, Miyasaka T, Tochigi K. Force Delivery from Various Forms of Nickel-titanium Preformed Orthodontic Archwires, CONTROL ID : 2469491, IADR, 2016.

G. 講 演

- (1) 特別講演・シンポジウム等での講演

記載事項なし

- (2) 講演会・研究会・研修会等での講演

記載事項なし

● 歯科法医学講座 Department of Forensic Dentistry

1. 所属構成員等

教 授 都築 民幸
講 師 岩原 香織
客 員 教 授 佐藤 喜宣
非 常 勤 講 師 高木 徹也, 北村 修
大 学 院 生 奈良 まゆ

2. 研究テーマ

- 1) 歯科における災害医療 Disaster dentistry.
- 2) 災害時の歯科医療救護(トリアージ, 応急救護, 個人識別) Dental assistance at mass disaster (First triage, Emergency relief and first aid treatment, Personal dental identification).
- 3) 歯科的個人識別と多数死体発生事案の取扱い Management of personal dental identification for multiple fatality incidence.
- 4) 生前歯科情報提供の取り扱い Management for providing of ante-mortem dental information.
- 5) 鑑定人証言のための文書化 Documentation for expert witness testimony.
- 6) 身体的虐待とネグレクトの発見, 虐待防止, 子育て支援 Recognition of physical abuse and neglect, prevention of abuse and child care support.
- 7) 虐待の歯科的所見 Dental findings of abuse and maltreatment.
- 8) 虐待における多職種間の連携 Cooperation between multi occupational categories in abuse.
- 9) 歯科法医学に関する教育手法 Education strategy on forensic dentistry.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

- 1) 第 84 回日本法医学会学術関東地方集会, 千代田区, 2015 年 10 月 24 日, 都築民幸.
- 2) 日本子ども虐待防止学会第 21 回学術集会にいがた大会 シンポジウム 不自然なキズと証拠の残し方 ―身体外表と口腔の損傷・病態について―, 新潟市, 2015 年 11 月 21 日, 都築民幸, 美作宗太郎, 岩原香織.

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

- 1) 日本学術振興会科学研究費助成事業科学研究費補助金, 基盤研究 (C) (新規), 平成 27～29 年度, 遺族感情に配慮した歯科的個人識別 (身元確認) システムの構築, 岩原香織 (代

表), 都築民幸 (分担), 4,810,000 円.

8. 研究業績

A. 著 書

記載事項なし

B. 原 著

記載事項なし

C. 総説・解説

1. 岩原香織, 都築民幸: 災害歯科医療、災害歯科医学を再考する, 日本歯科医師会雑誌, 68 (12): 39-45, 2015.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等)・紀要

1. 都築民幸, 岩原香織: 子ども虐待を防ぐために歯科医療従事者ができること, DH style, 9 (8): 70-73, 2015.
2. 岩原香織, 都築民幸: 子どもマルトリートメントと歯科衛生士のかかわりを考える, DH style, 9 (8): 74-77, 2015.

E. 翻 訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 吉田昌記, 高篠 智, 氣賀澤秀明, 山田千歩, 岩楯桜子, 高木徹也, 岩原香織, 都築民幸, 北村 修, 佐藤喜宣: 特殊メイク用シリコンを応用して作成した人工皮膚を用いた遺体修復についての報告 2, 日法医誌, 69 (1): 82, 2015.

G. 講 演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 都築民幸: 災害時における死体の歯科検査・歯科的個人識別の問題点, 第 99 次日本法医学学会学術全国集会, シンポジウム, 高知市, 2015 年 6 月 12 日.
2. 都築民幸: 不自然なキズに遭遇したら, 日本子ども虐待防止学会第 21 回学術集会にいがた大会, シンポジウム, 新潟市, 2015 年 11 月 21 日.
3. 岩原香織: 口腔顔面の損傷・病態と記録 ―不自然な歯科所見とその特徴―, 日本子ども虐待防止学会第 21 回学術集会にいがた大会, シンポジウム, 新潟市, 2015 年 11 月 21 日.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 都築民幸: 災害時の身元確認 ―歯科医師の役割―, 警察三署 (渋谷・原宿・代々木) との合同身元確認訓練, 渋谷区, 2015 年 5 月 28 日.
2. 岩原香織: 災害時の身元確認 ―他機関との連携―, 警察三署 (渋谷・原宿・代々木) との合同身元確認訓練, 渋谷区, 2015 年 5 月 28 日.

3. 都築民幸：災害時に確実に円滑な身元確認活動を行うために ―今できていること・できていないこと―，東京都港区警察歯科医会研修会，港区，2015年6月2日。
4. 岩原香織，都築民幸：マルトリートメント・虐待の防止や対応における歯科医師の役割，虐待防止・歯科研究会設立集会，千代田区，2015年6月7日。
5. 都築民幸：子ども虐待防止の予防と発見にかかわる歯科の役割，平成27年度東京都立心身障害者口腔保健センター歯科医師・歯科医療従事者集団研修会，千代田区，2015年6月21日。
6. 岩原香織：災害犠牲者における照合・異同判定，訓練事後検証会，渋谷区，2015年7月17日。
7. 岩原香織：江戸川区における緊急医療救護所での歯科医師の活動，江戸川区歯科医師会防災班勉強会，江戸川区，2015年7月21日。
8. 都築民幸：死体現象と歯科所見採取，神奈川県警察協力歯科医研修会，横浜市，2015年7月23日。
9. 岩原香織：患者の状態把握と対応、情報提供について，平成27年度江戸川区総合防災訓練，江戸川区，2015年7月23日。
10. 都築民幸：遺体からの歯科所見の採取，神奈川県警察協力歯科医研修会，横須賀市，2015年7月26日。
11. 岩原香織：デジタルエックス線撮影と口腔内写真撮影実習，神奈川県警察協力歯科医研修会，横須賀市，2015年7月26日。
12. 岩原香織：検視実務教養 ―歯科法医学と子ども虐待―，石川県警察，金沢市，2015年8月6日。
13. 都築民幸：災害時の歯科医療 ―求められる歯科医師の活動―，埼玉県歯科医師会 防災連絡協議会及び身元確認班研修会，さいたま市，2014年8月20日。
14. 岩原香織：「ボク」の「ワタシ」の「歯科法医学」，平成27年度文部科学省支援事業，長崎市，2015年8月22日。
15. 岩原香織：歯科的個人識別の実際，平成27年度歯学部生のための長崎歯科法医学セミナー，長崎市，2015年8月23日。
16. 都築民幸：デンタルチャートの作成と照合作業を体験してみよう，平成27年度歯学部生のための長崎歯科法医学セミナー，長崎市，2015年8月23日。
17. 岩原香織：多数死体取扱事案への対応 ―できないことを認識する―，葛西警察署と江戸川区歯科医師会との大規模災害時における多数死体取扱訓練，江戸川区，2015年9月10日。
18. 都築民幸：子ども虐待の発見・防止・対応に関わる歯科の役割 ―子どものクオリティを維持するために―，伊勢崎歯科医師会学術講演会，伊勢崎市，2015年9月10日。
19. 岩原香織：子どもを「みる」 ―虐待・マルトリートメントの気づきから、自分のできることを考える―，児童虐待防止研修会，青森市，2015年9月12日。
20. 都築民幸：災害時に歯科医師が行う活動 ―災害医療の理解―，東京都町田市歯科医師会警察歯科部会講演会，町田市，2015年9月26日。
21. 都築民幸：災害時に歯科医師（会）が行う医療救護とは ―何ができるのか、何を行わなくてはならないのか―，東京都世田谷区歯科医師会 災害時の医療救護活動に関する研修会，世田谷区，2019年10月14日。

22. 岩原香織：災害時の応急救護 ―「平時」、「救急医療」との違い―，川口市総合防災訓練事前会議及び講習会，川口市，2015 年 10 月 16 日．
23. 都築民幸：歯科的個人識別，平成 27 年度身元確認に関する歯科医師研修会，八王子市，2015 年 10 月 22 日．
24. 岩原香織：医療救護所での患者管理，川口歯科医師会・川口市，川口市，2015 年 11 月 1 日．
25. 都築民幸：医療救護所での医療救護活動 ―連携の確認―，川口歯科医師会・川口市，川口市，2015 年 11 月 1 日．
26. 岩原香織：歯科医師による個人識別 ―専門性を活用する―，七尾・羽咋合同学術講演会，羽咋郡，2015 年 11 月 8 日．
27. 岩原香織：港区における災害時歯科医療体制，港区芝・麻布赤坂歯科医師会災害時医療に関する勉強会，港区，2015 年 11 月 12 日．
28. 都築民幸：警察官等による歯科医師のサポート，港区 6 警察署と港区警察歯科医会との身元確認合同訓練，港区，2015 年 11 月 14 日．
29. 岩原香織：採取資料の収集・管理・保管，大規模災害時における多数死体取扱合同訓練，港区，2015 年 11 月 14 日．
30. 都築民幸：首都直下型地震発生時の歯科医師会の対応 ～歯科医師が行う災害医療～，東京都昭島市歯科医師会・警視庁昭島警察署合同研修会，昭島市，2015 年 11 月 25 日．
31. 都築民幸：歯科情報からわかること ―エビデンスと経験に基づく情報提供―，岩手県歯科医師会 平成 27 年度法歯学セミナー，盛岡市，2015 年 11 月 28 日．
32. 岩原香織：画像情報から何を読み取り、情報提供するか，岩手県歯科医師会第 10 回身元確認作業の合同訓練，盛岡市，2015 年 11 月 28 日．
33. 都築民幸：歯科医師による子ども虐待防止 ―適切な対応で子どもを護る―，千葉県歯科医師会 平成 27 年度虐待防止に関する講演会，千葉市，2015 年 12 月 3 日．
34. 都築民幸：子ども虐待防止に向けた歯科からの介入，静岡県歯科医師会 子ども虐待防止に向けた講習会，静岡市，2015 年 12 月 6 日．
35. 都築民幸：災害歯科医療 ―災害時の歯科医師（会）の活動とは―，平成 27 年度新潟県歯科医師会身元確認研修会，新潟市，2015 年 12 月 20 日．
36. 岩原香織：身元確認における照合・異同判定のポイント，平成 27 年度新潟県警察歯科医会身元確認研修会，新潟市，2015 年 12 月 20 日．
37. 都築民幸：災害時に歯科医師が行える活動・行わなくてはならない活動 ～歯科における災害医療の理解～，山口県歯科医師研修会警察歯科医・海上保安歯科医研修会，山口市，2016 年 1 月 17 日．
38. 都築民幸：子ども虐待と歯科医療従事者 ―歯科の知識・情報を子ども虐待の防止・対応に活用する―，磐周歯科医師会，磐田市，2016 年 2 月 11 日．
39. 岩原香織：決定事項の確認，港区芝・麻布赤坂歯科医師会災害時医療に関する勉強会，港区，2016 年 2 月 12 日．
40. 都築民幸：「歯型による身元確認」から「歯科的個人識別」へ ―エビデンスと経験に基づく情報提供の重要性―，東京都大田区大森歯科医師会警察協力医会，大田区，2016 年 2 月 19 日．
41. 岩原香織：多数死体取扱訓練を振り返って，江戸川区歯科医師会警察歯科研修会，江戸川

区，2016 年 2 月 19 日．

42. 都築民幸：デンタルチャート作成について，平成 27 年度身元確認に関する歯科医師研修会，千代田区，2016 年 2 月 25 日．
43. 都築民幸：災害時の歯科的個人識別とその注意事項，日本歯科大学高知県校友会，高知市，2016 年 3 月 13 日．
44. 岩原香織：歯科的個人識別におけるデンタルチャートの意義，日本歯科大学高知県校友会，高知市，2016 年 3 月 13 日．
45. 岩原香織：災害時の安否確認，港区芝・麻布赤坂歯科医師会災害時医療に関する勉強会，港区，2016 年 3 月 18 日．

● 発生・再生医科学講座
Department of Developmental and Regenerative Dentistry

1. 所属構成員等

教 授 中原 貴
講 師 井出 吉昭
助 教 富永 徳子
客員教授等 宮浦 千里
非常勤講師 田巻 友一
大学院生 村林 大, 望月 真衣

2. 研究テーマ

- 1) “再生歯インプラント”の器官創製と再生医療への応用 Engineering of test-tube dental implants for regenerative therapy.
- 2) 歯・歯周組織ユニットの発生・再生メカニズムの解明 Cell and molecular biology of tooth/periodontal tissue development and regeneration.
- 3) 抜去歯由来の幹細胞の分離・同定と機能性細胞への分化誘導法の開発 Isolation, characterization, and differentiation of multipotent stem cells derived from human teeth.
- 4) 抗加齢医療にむけた体性組織メンテナンスと幹細胞制御 Cellular senescence and rejuvenation of somatic stem cells: development of anti-aging therapy.
- 5) ヒト癌組織からの細胞株の樹立 Establishment and characterization of cell lines derived from human cancer tissue.
- 6) 酸素電極テクノロジーを用いた新しい抗癌剤感受性試験法の開発と応用 Development and evaluation of a novel method for in vitro susceptibility test of human cancer cells against anticancer drugs using a new type of oxygen electrodes.

3. 今年度の研究上の特記すべき事項

- 1) 日本歯科大学生命歯学部ベストレクチャー賞, 中原 貴, 2015 年 6 月 1 日.

委員・資格取得

- 1) 日本ヒト細胞学会理事, 中原 貴, 2015 年 4 月 1 日.
- 2) 日本歯科大学特定認定再生医療等委員会 (第 2 種) (認定番号: NA8150007) 委員, 中原 貴, 2015 年 6 月 16 日.
- 3) 日本口腔インプラント学会基礎系指導医 (基礎指導医登録番号: 第 37 号), 井出吉昭, 2015 年 7 月 19 日.
- 4) 日本歯科大学セントラルクリニック歯髓細胞バンク認定医, 中原 貴 (2015 年 8 月 24 日), 井出吉昭 (2015 年 8 月 24 日), 富永徳子 (2015 年 8 月 24 日), 村林 大 (2015 年 8 月 24 日), 望月真衣 (2015 年 8 月 24 日).
- 5) 日本再生医療学会再生医療認定医, 中原 貴, 2016 年 1 月 1 日.

メディア紹介記事

(1) 学外メディア

- 1) 池田水脈：第2回訪問学術講演会 バイオ再生医療の現状と展開―“安全な”歯科医療を再考する―，四谷牛込歯報（一般社団法人東京都新宿区四谷牛込歯科医師会会誌），8：13，2015.
- 2) 日本歯科評論，【ランダムノート】一般マスコミを中心とする“記者懇談会”を開催（日歯連盟），76（4）：183，2016.

(2) 学内・校友会メディア

- 1) 日本歯科大学新聞，新たな歯科医療のカタチ～歯髄細胞バンク認定医講習会，633：4，2016年2月29日.
- 2) 高橋眞一：平成27年度九州地区歯学研修会，日本歯科大学校友会・歯学会会報，41（3）：37，2016.
- 3) 日本歯科大学校友会メールマガジン，学術フォーラム2016開催される，325，2016年2月22日.
- 4) 日本歯科大学校友会メールマガジン，九州地区歯学研修会が開催される，320，2015年12月21日.
- 5) KOYU Times，我が国初の大学による歯髄細胞バンク始動！，11：3，2015.
- 6) KOYU Times，校友会・学生会共催 特別講義 開催される，10：3，2015.
- 7) KOYU Times，「女性歯科医師の集い2015」開催，10：2，2015.
- 8) 日本歯科大学校友会メールマガジン，平成27年度ポストグラデュエート・コース開催される，314，2015年11月9日.
- 9) 日本歯科大学校友会メールマガジン，平成27年度ポストグラデュエート・コース開催される，307，2015年9月1日.
- 10) 日本歯科大学校友会メールマガジン，平成27年度ポストグラデュエート・コース開催される，304，2015年8月3日.
- 11) 日本歯科大学校友会メールマガジン，歯髄細胞バンク認定医講習会の後期日程が発表される，304，2015年8月3日.
- 12) 日本歯科大学校友会メールマガジン，日本歯科大学セントラルクリニック歯髄細胞バンク認定医講習会のお知らせ，302，2015年7月13日.
- 13) 日本歯科大学校友会メールマガジン，歯科基礎医学会 第1回定期特別講演会 開催される，294，2015年5月7日.
- 14) 日本歯科大学新聞，歯髄細胞バンク設立～校友の認定医を求む～東京 再生医療のベース基地に，627：1，2015年4月30日.

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

- 1) 一般社団法人歯科基礎医学会第1回定期特別講演会 組織発生学分野 分野別分科会，日本歯科大学生命歯学部151講堂，東京，2015年4月25日，中原 貴，大島勇人.

- 2) 第33回日本ヒト細胞学会学術集会シンポジウム3「細胞・組織の制御と解析に向けた技術インテグレーション」, ホテルスカイタワー, 宮崎, 2015年8月23日.
- 3) 日本歯科大学セントラルクリニック歯髓細胞バンク認定医講習会, 東京, 第1回(2015年7月8日), 第2回(2015年7月9日), 第3回(2015年7月12日), 第4回(2015年7月16日), 第5回(2015年8月2日), 第6回(2015年11月26日), 第7回(2015年12月2日), 第8回(2015年12月6日), 中原 貴, 石川 博.

6. 国際交流状況

- 1) 井出吉昭 : Dr. Johan Wolfaardt (Professor, Division of Otolaryngology Head and Neck Surgery, Department of Surgery, Faculty of Medicine and Dentistry, University of Alberta / Director of Clinics and International Relations, Institute for Reconstructive Sciences in Medicine (iRSM), Alberta Health Services / Covenant Health/University of Alberta) と共同研究を継続中. 平成27年7月にエドモントンで研究打ち合わせを行った.

7. 外部・学内研究費

- 1) 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(B)(新規), 平成27~29年度, がん化リスクのない多能性幹細胞の医療応用~新規培養法によるバイオエナメル創製~, 中原 貴(代表), 井出吉昭, 石川 博, 橋本尚詞, 立花利公(分担), 6,500,000円.
- 2) 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C)(新規), 平成27~29年度, 放射線歯根形成障害メカニズム解明の基盤研究~新たな知見を創設可能な実験システム~, 井出吉昭(代表), 中原 貴, 那須優則, 石川 博, 大山晃弘, 豊村順子(分担), 1,400,000円.
- 3) 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C)(継続), 平成26~28年度, 非ステロイド性抗炎症薬による幹細胞の分化能・組織再生能の解明と応用法の開発, 筒井健夫(代表), 中原 貴(分担), 1,170,000円.
- 4) 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(B)(継続), 平成25~27年度, 「歯根-歯周組織ユニット」の形成による歯根再生への新規ストラテジー, 須田直人(代表), 太田正人, 中原 貴(分担), 5,070,000円.
- 5) 日本歯科大学研究プロジェクト(新規), 平成27年度, 歯髓細胞バンクを基盤とした再生医療実現化プロジェクト, 筒井健夫(代表), 八重垣健, 中原 貴, 石川 博, 今井敏夫, 又賀 泉(分担), 5,800,000円.

8. 研究業績

A. 著 書

1. 中原 貴(分担執筆): 第10章 歯髓と歯根膜からの選択的細胞分離~バイオ再生医療における“安全”な細胞獲得法の実際~, 99-107, 歯科再生・修復医療と材料, シーエムシー出版, 東京, 2015, ISBN: 978-4-7813-1084-8.

B. 原 著

1. Nakahara T, Tominaga N, Toyomura J, Tachibana T, Ide Y, Ishikawa H. Isolation and characterization of embryonic ameloblast lineage cells derived from tooth buds of fetal miniature swine, ◎☆In Vitro Cell Dev Biol Anim, 52 (4): 445-453, 2015, doi: 10.1007/s11626-015-

9987-7.

2. Ohyama A, Nikaido T, Tachibana T, Tominaga N, Toyomura J, Kimura E, Nakahara T, Yasuda M, Ishikawa H. Establishment and characterization of a cell line designated Nur-1 derived from human endometrioid adenocarcinoma of uterine corpus, ©☆Hum Cell, 28 (2) : 100-107, 2015, doi : 10.1007/s13577-014-0108-9.

C. 総説・解説

1. 中原 貴：歯科からみる再生医療の未来＜第1回＞歯髄細胞バンクを中心とするバイオ再生医療の世界～医科を巻きこむ歯髄細胞のポテンシャル～，日本歯科大学校友会・歯学会会報，41 (1) : 2-5, 2015.
2. 石川 博，大山晃弘，中原 貴：大学と校友が一体化し発展する日本歯科大学・セントラルクリニック歯髄細胞バンクの設立，歯学，103 (秋季特集号) : 23-26, 2015.
3. 中原 貴：【歯の細胞生物学】歯髄と歯根膜組織からの選択的細胞分離の実際―“安全”を約束するバイオ再生医療のために，腎と骨代謝，29 (1) : 41-48, 2016.
4. 中原 貴：来たるべきバイオ再生医療に向けて～「歯髄細胞バンク」という新たな歯科医療のカタチ～，日本歯科医師会雑誌，68 (10) : 19-27, 2016.
5. 中原 貴：歯科から発信するバイオ再生医療～「歯髄細胞バンク」という新たな希望～，公益財団法人 8020 推進財団 会誌「8020」，15 : 46-49, 2016.

D. 報告（臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等）・紀要

1. 中原 貴：インタビュー「バイオ再生医療」の現状と展望～口腔内細胞で全身疾患治す時代へ～，日本歯科新聞 8 面，2015 年 2 月 10 日. (2014 年度記載漏れ)
2. 中原 貴：「わが国初の“歯髄細胞バンク”始動」日本歯科大学・セントラルクリニック歯髄細胞バンクの設立，東京都日本歯科大学校友会会誌「富士見」，173 : 2, 2015.
3. 中原 貴：平成 26 年度日本歯科大学区民公開講座を開催，日本歯科大学校友会・歯学会会報，40 (4) : 58, 2015.
4. 井出吉昭：海外歯科あれこれ カナダ・アルバータ州・エドモントン編，日本歯科大学校友会・歯学会会報，41 (1) : 50-51, 2016.
5. 中原 貴：萬人一語「歯髄幹細胞を用いたバイオ再生医療の可能性」，新聞 QUINT，235 : 1, 2015.
6. 中原 貴：バイオ再生医療の現状と展開―“安全な”歯科医療を再考する―，四谷牛込歯報（一般社団法人東京都新宿区四谷牛込歯科医師会会誌），8 : 14-25, 2015.
7. 中原 貴：参加御礼！歯髄細胞バンク認定医講習会―患者さんのモチベーション・アップへ―，日本歯科大学校友会・歯学会会報，41 (3) : 62, 2016.
8. 中原 貴：2020 年歯科医療シミュレーションマップ バイオ再生医療は歯科に新風を吹きこむか？，デンタルダイヤモンド，41 (1) : 28-33, 2016.
9. 井出吉昭：若手の研究者にとって貴重な海外留学制度，日本歯科大学生命歯学部 2016 大学案内，36-37, 2016.

E. 翻訳

記載事項なし

F. 学術雑誌掲載講演抄録

1. 井出吉昭：3D プリンター模型作製時における模型の鋭角部角度の大きさが模型精度に与える影響，日本口腔インプラント学会誌，28（特別号）：305，2015.
2. 井出吉昭，中原 貴，那須優則，石川 博：頭部エックス線照射マウスの臼歯根尖部の形態的異常，J Oral Biosci，57：177，2015.
3. 村林 大，中原 貴：新規無血清培養液 MSC-T4 を用いたヒト歯根膜幹細胞の増殖能および多分化能解析，J Oral Biosci，57：397，2015.
4. 那須優則，堀江哲郎，井出吉昭，三橋扶佐子，中原 貴：胎仔唾液腺の放射線障害に対するラジカルスカベンジャーの効果，J Oral Biosci，57：464，2015.
5. 高橋 悠，大山晃弘，川上未有希，石川 博，中原 貴，田中 彰：成人の抜去歯由来細胞を用いたアテロコラーゲン細胞ビーズ法による歯の再生，日本口腔外科学会雑誌，61：277，2015.（高橋 悠：第 60 回日本口腔外科学会総会・学術大会 優秀ポスター発表賞受賞，平成 27 年 10 月）
6. 中原 貴，富永徳子，石川 博：セル・フィッシング法で分離したミニブタ胎仔歯冠由来エナメル芽細胞株の微細形態解析，日本口腔外科学会雑誌，61：298，2015.
7. 太田正人，藤岡一小林真左子，國島由美，山下厚子，中原 貴，秋吉一成，井関祥子，須田直人：Honokiol と BMP2 と徐放性ナノゲルを組み合わせた効率的硬組織形成法，日本再生医療学会誌，15：228，2016.
8. 望月真衣，中原 貴：Xeno-free 無血清培養液における歯髄幹細胞の特性評価，日本再生医療学会誌，15：229，2016.

G. 講演

(1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 中原 貴：“安全”なバイオ再生医療の実現にむけて～歯髄細胞バンクが支える未来の再生医療～，第 13 回日本再生歯科医学会学術大会・総会シンポジウム「歯科再生医療からの臨床応用の取り組み」，日本歯科大学新潟生命歯学部講堂，新潟，2015 年 8 月 29 日.

(2) 講演会・研究会・研修会等での講演

1. 中原 貴：日本歯科大学セントラルクリニック歯髄細胞バンク事業ミニレクチャー，第 5 回（日本歯科大学校友会理事会，日本歯科大学生命歯学部第 1 会議室，東京，2015 年 4 月 4 日），第 6 回（日本歯科大学附属病院運営会議，日本歯科大学附属病院第 1 会議室，東京，4 月 20 日），第 7 回（東京都日本歯科大学校友会支部長会，ホテルメトロポリタンエドモントクリスタルホール，東京，5 月 13 日），第 8 回（日本歯科大学生命歯学部 89 回卒同窓会，ホテルグランドパレス，東京，7 月 12 日），第 9 回（「再生医療に向けた歯髄細胞バンクの設立～歯髄細胞バンクにご協力いただける校友のみなさんへ～」，平成 27 年度ポストグラデュエート・コース A コース（生命歯学部解剖学第 1 講座・口腔リハビリテーション科），日本歯科大学生命歯学部 131 講堂，東京，7 月 25 日），第 10 回（「再生医療に向けた歯髄細胞バンクの設立～歯髄細胞バンクにご協力いただける校友のみなさんへ～」，平成 27 年度ポストグラデュエート・コース B コース（生命歯学部歯周病学講座・東京短期大学），日本歯科大学生命歯学部臨床講義室，東京，8 月 6 日），第 11 回（日本歯科大学校友会理事会，日本歯科大学生命歯学部第 1 会議室，東京，9 月 26 日）第 12 回（「再生医

- 療に向けた歯髄細胞バンクの設立～歯髄細胞バンクにご協力いただける校友のみなさんへ～」, 平成 27 年度ポストグラデュエート・コース C コース (新潟生命歯学部歯科保存学第 1 講座・総合診療科), 日本歯科大学新潟生命歯学部マルチメディア実習室, 新潟, 10 月 24 日).
2. 中原 貴: わが国初の歯髄細胞バンクが始動～校友会員へのおねがい～, 日本歯科大学校友会主催 第 5 回女性歯科医師の集い 2015, ホテルグランドパレス, 東京, 2015 年 4 月 19 日.
 3. 中原 貴: 口腔組織再生に導く細胞ソースの獲得～初代培養からの選択的細胞分離の実際～, 一般社団法人歯科基礎医学会第 1 回定期特別講演会 組織発生学分野 分野別分科会, 日本歯科大学生命歯学部 151 講堂, 東京, 2015 年 4 月 25 日.
 4. 高橋 悠, 大山晃弘, 豊村順子, 川上未有希, 石川 博, 中原 貴, 田中 彰: ヒトマラッセ上皮残遺細胞を細胞源としたアテロコラーゲン細胞ビーズによる歯と歯周組織ユニットの再生, 第 69 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 大阪国際会議場, 大阪, 2015 年 5 月 13 日.
 5. 中原 貴: 再生医療の研究とは～研究の事始め～, 第 16 回発生・再生医科学セミナー (DRD Seminar), 日本歯科大学生命歯学部 135 講堂, 東京, 2015 年 5 月 14 日.
 6. 村林 大: 大学院での研究について, 第 17 回発生・再生医科学セミナー (DRD Seminar), 日本歯科大学生命歯学部 135 講堂, 東京, 2015 年 5 月 21 日.
 7. 中原 貴: 歯科から発信する再生医療～抜去歯幹細胞による疾患治療と歯の再生～, 日本歯科大学新潟生命歯学部第 3 学年特別授業, 日本歯科大学新潟生命歯学部第 3 学年講堂, 新潟, 2015 年 5 月 28 日.
 8. 村林 大, 田巻友一, 佐藤和聡, 中原 貴: 抗加齢医療に向けた無血清培養液を用いたヒト歯根膜幹細胞の特性評価, 第 15 回日本抗加齢医学会総会, 福岡国際会議場, 福岡, 2015 年 5 月 29 日.
 9. 井出吉昭: 知っておきたい幹細胞の豆知識～ES・iPS 細胞から歯髄幹細胞まで～, 第 18 回発生・再生医科学セミナー (DRD Seminar), 日本歯科大学生命歯学部 135 講堂, 東京, 2015 年 6 月 4 日.
 10. 井出吉昭, 中原 貴, 那須優則, 石川 博: 頭部エックス線照射を行ったマウスの歯根形態およびヘルトヴィッヒ上皮鞘とその周囲間葉の細胞動態の観察, 平成 27 年度日本歯科大学歯学会大会・総会, 日本歯科大学新潟生命歯学部 1 号館ホール, 新潟, 2015 年 6 月 6 日.
 11. 井出吉昭, Suresh Nayar, Heather Logan, Brendan Gallagher, Johan Wolfaardt: 3D プリンター模型作成時における模型の鋭角部角度の大きさとプリンティングの向きの違いが模型の精度に与える影響, 平成 27 年度日本歯科大学歯学会大会・総会, 日本歯科大学新潟生命歯学部 1 号館ホール, 新潟, 2015 年 6 月 6 日.
 12. Kunishima Y, Fujioka-Kobayashi M, Yamashita A, Akiyoshi K, Iseki S, Suda N, Woo J, Nakahara T, Ota MS. Honokiol and BMP2 synergistically promote osteoblastic differentiation *in vitro* and bone repair *in vivo*, 平成 27 年度日本歯科大学歯学会大会・総会, 日本歯科大学新潟生命歯学部 1 号館ホール, 新潟, 2015 年 6 月 6 日.
 13. 中原 貴, 富永徳子, 石川 博: セル・フィッシング法を用いたミニブタ胎仔乳臼歯由来エナメル芽細胞株の分離と同定, 平成 27 年度日本歯科大学歯学会大会・総会, 日本歯科

大学新潟生命歯学部 1 号館ホール，新潟，2015 年 6 月 6 日．

14. 中原 貴，大山晃弘，豊村順子，石川 博：“歯髄細胞バンク”が支えるバイオ再生医療の世界～日本歯科大学・セントラルクリニック歯髄細胞バンクの設立～，平成 27 年度日本歯科大学歯学会大会・総会，日本歯科大学新潟生命歯学部 1 号館ホール，新潟，2015 年 6 月 6 日．
15. 村林 大，田巻友一，中原 貴：無血清培養液を用いたヒト歯根膜幹細胞の特性評価，平成 27 年度日本歯科大学歯学会大会・総会，日本歯科大学新潟生命歯学部 1 号館ホール，新潟，2015 年 6 月 6 日．
16. 望月真衣，中原 貴，石川 博：マウス early ES 細胞と ES 細胞における細胞周期解析，平成 27 年度日本歯科大学歯学会大会・総会，日本歯科大学新潟生命歯学部 1 号館ホール，新潟，2015 年 6 月 6 日．
17. Kobayashi E, Nakahara T, Nakamura T, Tanaka A. Experimental study on in situ tissue engineering of the Temporomandibular joint disc using autologous bone marrow and collagen sponge scaffold, 平成 27 年度日本歯科大学歯学会大会・総会，日本歯科大学新潟生命歯学部 1 号館ホール，新潟，2015 年 6 月 6 日．
18. 高橋 悠，大山晃弘，豊村順子，川上未有希，石川 博，中原 貴，田中 彰：成人の抜去歯由来細胞を細胞源としてアテロコラーゲンビーズを用いた歯と歯周組織ユニットの再生，平成 27 年度日本歯科大学歯学会大会・総会，日本歯科大学新潟生命歯学部 1 号館ホール，新潟，2015 年 6 月 6 日．
19. 望月真衣：再生医療に触れて～大学卒業から臨床を経て研究へ～，第 19 回発生・再生医科学セミナー（DRD Seminar），日本歯科大学生命歯学部 135 講堂，東京，2015 年 6 月 11 日．
20. Murabayashi D, Tamaki Y, Sato K, Nakahara T. In vitro comparative study of stem cell characteristics of human periodontal ligament stem cells under serum-free culture conditions, 13th Annual Meeting International Society for Stem Cell Research (ISSCR), Stockholm Convention and Exhibition Center, Stockholm, Sweden, June 24-27, 2015.
21. Shinagawa R, Tamaki Y, Suda N, Nakahara T. In vitro and in vivo stem cell characteristics of human dental follicle and periodontal ligament cells isolated using two distinct methods, 13th Annual Meeting International Society for Stem Cell Research (ISSCR), Stockholm Convention and Exhibition Center, Stockholm, Sweden, June 24-27, 2015.
22. 中原 貴：歯髄細胞バンクの概要と意義，日本歯科大学セントラルクリニック歯髄細胞バンク認定医講習会，第 1 回，日本歯科大学生命歯学部九段ホール，東京（2015 年 7 月 8 日），第 2 回，日本歯科大学附属病院牛込ホール，東京（7 月 9 日），第 3 回，日本歯科大学生命歯学部富士見ホール，東京（7 月 12 日），第 4 回，日本歯科大学生命歯学部九段ホール，東京（7 月 16 日），第 5 回，日本歯科大学生命歯学部九段ホール，東京（8 月 2 日），第 6 回，日本歯科大学生命歯学部九段ホール，東京（11 月 26 日），第 7 回，日本歯科大学生命歯学部九段ホール，東京（12 月 2 日）第 8 回，日本歯科大学生命歯学部九段ホール，東京（12 月 6 日）．
23. 中原 貴，今井敏夫，江面 晃，菊池憲一郎，佐藤 聡，砂田勝久，田巻友一，筒井健夫，寺田員人，両角祐子，八重垣健：日本歯科大学が主導する再生医療による「生命歯学」の実践にむけて，平成 26 年度グラント研究・研究プロジェクト研究報告会（2），日本歯科

大学生命歯学部 100 周年記念館 141 講堂，東京，2015 年 8 月 5 日．

24. 高橋 悠，大山晃弘，豊村順子，川上未有希，石川 博，中原 貴，田中 彰：ヒト歯肉
頬粘膜癌細胞株 NOCS-1 の樹立とその特徴，第 33 回日本ヒト細胞学会学術集会，ホテル
スカイタワー，宮崎，2015 年 8 月 23 日．
25. 望月真衣，中原 貴，石川 博：マウス多能性幹細胞とヒト体性幹細胞の細胞周期に基づ
いた増殖能の比較解析，第 33 回日本ヒト細胞学会学術集会，ホテルスカイタワー，宮崎，
2015 年 8 月 23 日．
26. 中原 貴：バイオ再生医療の現状と展開～“安全”を約束する歯髄幹細胞の将来像～，株
式会社技術情報協会主催セミナー「歯科用骨補填材のニーズと歯髄幹細胞の臨床応用」，
技術情報協会セミナールーム，東京，2015 年 9 月 10 日．
27. 中原 貴：“安全”なバイオ再生医療にむけた再生医療技術と歯髄細胞バンク，第 241 回
二木会講演会，東京第一ホテル鶴岡，鶴岡，2015 年 9 月 12 日．
28. Shinagawa R, Tamaki Y, Nakahara T, Suda N. Cementogenesis by humanmesenchymal stem
cells isolated from periodontal ligaments, 8th International Orthodontic Congress (IOC) 2015,
ExCeL London, London, UK, September 27-30, 2015.
29. (品川 令：8th IOC ロンドン大会 JOS トラベルアワード受賞)
30. 中原 貴：“安全”を約束するバイオ再生医療のために～歯科医療の未来を拓く「歯髄細胞
バンク」の役割～，公益社団法人川崎市歯科医師会学術講演会，川崎市歯科医師会館，川
崎，2015 年 11 月 3 日．
31. 中原 貴：再生医療とは，慶應義塾普通部（横浜市港北区）3 年生「目路はるか教室」，日
本歯科大学生命歯学部発生・再生医科学講座，東京，2015 年 11 月 6 日．
32. 中原 貴：日本歯科大学校友会会員が歯科医療を変える！～バイオ再生医療の未来を拓く
「歯髄細胞バンク」の役割～，東京都日本歯科大学校友会多摩連合会学術講演会，立川市
女性総合センターホール（アイムホール），立川，2015 年 11 月 7 日．
33. 中原 貴：“安全”を約束するバイオ再生医療にむけて～将来の歯科医療を拓く「歯髄細胞
バンク」の役割～，一般社団法人東京都西多摩歯科医師会第 2 回学術講演会，西多摩歯科
医師会館，青梅，2015 年 11 月 12 日．
34. 中原 貴：急告！88 回卒のみなさんへ～歯髄細胞バンク認定医講習会のお誘い～，筒井健
夫先生の教授就任を祝う会，日本歯科大学生命歯学部九段ホール，東京，2015 年 11 月 15
日．
35. Shinagawa R, Tamaki Y, Nakahara T, Suda N. In vivo cementum formation by mesenchymal
stem cells derived from extracted human teeth. The 74th Annual Meeting of the Japanese Orthodontic
Society (JOS), Fukuoka International Congress Center, Fukuoka, Japan, November 18-20, 2015.
36. 高橋 悠，大山晃弘，豊村順子，川上未有希，石川 博，中原 貴，田中 彰：成人の抜
去歯由来細胞を用いたアテロコラーゲン細胞ビーズ法によるヒトサイズの歯の再生，日本
歯科大学歯学会第 2 回ウィンターミーティング，日本歯科大学生命歯学部メモリアルホール
，東京，2015 年 12 月 5 日．
37. 中原 貴：日本歯科大学校友会会員が歯科医療を変える！～バイオ再生医療を拓く「歯髄細
胞バンク」の意義～，東京都日本歯科大学校友会京橋支部学術講演会，三笠会館本店，東
京，2015 年 12 月 11 日．
38. 中原 貴：安全・身近バイオ再生医療にむけて～歯髄細胞バンクが担う未来の再生医療～，

- 平成 27 年度日本歯科大学九州地区歯学研修会，ホテル日航福岡，福岡，2015 年 12 月 12 日．
39. 井出吉昭：カナダ・エドモントン留学記～デジタル 3D テクノロジーを使った歯科研究～ Institute for Reconstructive Sciences in Medicine (iRSM) & アルバータ大学，日本歯科大学生命歯学部教育開発委員会主催帰朝報告会，日本歯科大学生命歯学部九段ホール，東京，2016 年 1 月 14 日．
40. 中原 貴：バイオ再生医療による歯・歯周組織再生のポテンシャル～咀嚼・摂食嚥下機能の維持増進から認知症・心筋梗塞の再生医療まで～，一般社団法人所沢市歯科医師会学術講演会，所沢市保健センター，所沢，2016 年 1 月 17 日．
41. 中原 貴：バイオ再生医療の“安全”を約束するために～体外培養における選択的細胞分離の実際～，日本歯科大学大学院生命歯学研究科平成 27 年度大学院セミナー，日本歯科大学生命歯学部第 2 会議室，東京，2016 年 1 月 21 日．
42. 中原 貴：“安全”な再生医療のための新たな細胞ソース～歯髄細胞バンクが担う未来の再生医療～，筑波大学医学セミナー，筑波大学 4A 411 室，つくば，2016 年 1 月 28 日．
43. 中原 貴：日本歯科大学セントラルクリニック歯髄細胞バンクの進捗報告と将来展望，日本歯科大学水泳部 OB 会会員教授就任祝賀会特別講演 1，ホテルメトロポリタンエドモント，東京，2016 年 1 月 30 日．
44. 井出吉昭：FDM 方式 3D プリンターにおける鋭角部角度の大きさが模型作製の精度に与える影響，日本口腔インプラント学会 第 35 回関東・甲信越支部学術大会，京王プラザホテル，東京，2016 年 2 月 13, 14 日．
45. 中原 貴：日本歯科大学セントラルクリニック歯髄細胞バンク～アドバンスコース～，日本歯科大学校友会主催学術フォーラム 2016，日本歯科大学生命歯学部九段ホール，東京，2016 年 2 月 14 日．
46. 中原 貴：歯の細胞で健康になろう！～歯髄細胞バンクのススメ～，平成 27 年度日本歯科大学区民公開講座（後援：千代田区），日本歯科大学生命歯学部九段ホール，東京，2016 年 2 月 18 日．
47. 中原 貴：日本歯科大学校友会会員が歯科医療を変える！～新たなツールとしての「歯髄細胞バンク」の活用法～，高知県日本歯科大学校友会学術講演会，高知県歯科医師会館，高知，2016 年 2 月 20 日．
48. Mochizuki M, Nakahara T. Isolation and characterization of human dental pulp stem cells under xeno-free culture condition, CiRA/ISSCR 2016 International Symposia, Kyoto University Clock Tower Centennial Hall, Kyoto, Japan, March 22-24, 2016.
49. 望月真衣：Xeno-free 無血清培養液における歯髄幹細胞の分離と特性評価～p53 は FBS 非存在下で細胞分裂を制御するのか？～，日本歯科大学大学院生命歯学研究科平成 27 年度第 2 回研究中間発表会，日本歯科大学生命歯学部九段ホール，東京，2016 年 3 月 31 日．